

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
木村英明、杉田 昭、小金井一隆、福島恒男、嶋田 紘	経過良好例における潰瘍性大腸炎術後回腸囊の内視鏡所見	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16-18日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、鬼頭文彦、福島恒男	Crohn病初回腸切除後再発例の予後の検討	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16-18日
山田恭子、杉田 昭、木村英明、小金井一隆、鬼頭文彦	経過中に診断を変更した炎症性腸疾患症例の臨床経過の検討	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16-18日
入江邦泰、小金井一隆、渡部 颯、山田恭子、杉田 昭、鬼頭文彦	直腸腫瘍を合併した潰瘍性大腸炎に対して大腸全摘術を施行した1例	第300回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2008年7月5日
岡本経子、小金井一隆、渡部 颯、山田恭子、杉田 昭、鬼頭文彦	Pelvic Cystに感染を合併したCrohn病の1例	第300回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2008年7月5日
小金一隆、木村英明、杉田 昭	クローン病に合併した直腸肛門管癌の臨床経過と問題点	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	Crohnに合併した難治性痔瘻に対するseton法の長期予後の検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日
山田恭子、杉田 昭、二木 了、木村英明、小金井一隆、鬼頭文彦	潰瘍性大腸炎症例における骨壊死合併例の検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	難治性潰瘍性大腸炎に対する手術適応拡大の検討	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月15-17日
二木 了、小金井一隆、木村英明、山田恭子、杉田 昭、福島恒男、鬼頭文彦	潰瘍性大腸炎におけるSSI (Surgical site infection) 発生因子の検討	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月15-17日
木村英明、樺山将士、小金井一隆、杉田 昭、福島恒男、嶋田 紘	潰瘍性大腸炎に合併した痔瘻の検討	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月15-17日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	Crohn病に合併した直腸肛門管癌の臨床経過からみた診断、治療法の検討	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月15-17日
渡部 颯、小金井一隆、山田恭子、杉田 昭、鬼頭文彦	直腸切断術後の会陰創治癒遅延から回腸瘻を生じたクローン病の1例	第298回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2008年2月23日
山内美帆子、小金井一隆、杉田 昭、山田恭子、渡部 颯、二木 了、鬼頭文彦	82歳で手術を要した潰瘍性大腸炎の1例	第298回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2008年2月23日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	難治性潰瘍性大腸炎に対する手術適応の拡大	第25回日本大腸検査学会総会	東京	2007年9月8-9日
杉田 昭、小金井一隆、橋本秀樹、木村英明、大槻恭子、二木 了、福島恒男、鬼頭文彦	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門管吻合術の術後QOLからみた有用性—SF36を用いた縦断研究	第62回日本消化器外科学会定期学術総会	東京	2007年7月18-20日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、大槻恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	肛門部病変を合併した潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘、回腸囊肛門(管)吻合術	第62回日本消化器外科学会定期学術総会	東京	2007年7月18-20日
木村英明、杉田 昭、小金井一隆、福島恒男	回腸囊肛門管吻合術における1期手術と分割手術の合併症	第62回日本消化器外科学会定期学術総会	東京	2007年7月18-20日
二木 了、小金井一隆、木村英明、大槻恭子、杉田 昭、福島恒男、鬼頭文彦	潰瘍性大腸炎におけるSSI (Surgical site infection) 発生率の検討	第62回日本消化器外科学会定期学術総会	東京	2007年7月18-20日
大槻恭子、杉田 昭、小金井一隆、木村英明、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	サイトメガロウイルス感染を伴った重症潰瘍性大腸炎症例の臨床経過	第62回日本消化器外科学会定期学術総会	東京	2007年7月18-20日
国崎玲子、杉田 昭、田中克明	狭義の炎症性腸疾患として扱われていた感染性腸疾患症例の解析と内視鏡診断の有用性	狭義の炎症性腸疾患として扱われていた感染性腸疾患症例の解析と内視鏡診断の有用性	東京	2007年5月9-11日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、大槻恭子、二木 了、福島恒男、鬼頭文彦	Crohn病に合併した直腸肛門管癌の臨床経過と診断、治療法の検討	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月10-12日
大槻恭子、小金井一隆、木村英明、杉田 昭、鬼頭文彦	在宅静脈経腸栄養療法の問題点	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月10-12日
木村英明、杉田 昭、小金井一隆、国崎玲子	腸管Behcet病、単純性潰瘍の外科治療	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月10-12日
小金井一隆、杉田 昭、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	クローン病に合併した難治性直腸肛門部病変に対する外科治療	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日-12月1日
杉田 昭、小金井一隆、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、木村英明、福島恒男	クローン病に対する免疫抑制剤の効果と副作用	第14回神奈川IBD研究会	横浜	2007年11月6日
小金井一隆、木村英明、杉田 昭	クローン病に対する人工肛門の経過と予後—特に、難治性直腸肛門部病変について—	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月18~21日
国崎玲子、杉田 昭、田中克明	炎症性腸疾患と鑑別を要した感染症腸炎症例の検討	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月18~21日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、二木 了、鬼頭文彦、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術の妥当性—J型回腸囊および肛門管粘膜の病理組織学的関東から—	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月18~21日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、二木 了、福島恒男、鬼頭文彦	Crohn病に合併した直腸肛門管癌の臨床経過と治療法の検討	第67回大腸癌研究会	神戸	2007年7月6日
新福魔弓、小金井一隆、杉田 昭、木内謙一郎、二木 了、大田洋平、鬼頭文彦	80歳代で発症し手術を要した潰瘍性大腸炎の1例	第294回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2007年5月12日
浅田久美子、小金井一隆、大田洋平、二木 了、大槻恭子、藪野太一、望月康久、高橋正純、石山 暁、杉田 昭、鬼頭文彦	クローン病に合併し切除した痔瘻癌の1症例	第293日本消化器病学会関東支部例会	東京	2007年2月24日
杉田 昭、小金一隆、木村英明、大槻恭子、二木 了、福島恒男、鬼頭文彦	Crohn病初回腸切除例に対するFunctional end to end anastomosisの意義	第3回日本消化管学会総会学術集会	東京	2007年2月1~2日
二木 了、杉田 昭、小金一隆、大槻恭子、藪野太一、渡辺 守、鬼頭文彦	小腸病変の穿通により遺残尿管膿瘍を形成したクローン病の1例	第3回日本消化管学会総会学術集会	東京	2007年2月1~2日
S. Shinzaki, H. Iijima, S. Egawa, S. Nakajima, T. Inoue, Y. Jin, Y. Hayashi, J. Kondo, S. Ishii, T. Nishida, T. Kanto, E. Miyoshi, M. Tsujii, N. Hayashi	Deficiency of Galactosyltransferase, Indispensable Enzyme for IgG Galactosylation, Ameliorates Murine Dextran Induced Colitis	米国DDW	Chicago, USA	2009年5月31日-6月4日
S. Nakajima, H. Iijima, T. Inoue, S. Shinzaki, S. Egawa, Y. Hayashi, J. Kondo, S. Ishii, T. Yoshio, K. Watabe, T. Nishida, M. Tsujii, S. Tsutsui, N. Hayashi	Correlation Between Vitamin K Deficiency and Clinical Activity Index in Patients with Inflammatory Bowel Disease	米国DDW	Chicago, USA	2009年5月31日-6月4日
H. Iijima, S. Nakajima, S. Shinzaki, S. Egawa, T. Inoue, Y. Hayashi, J. Kondo, S. Ishii, T. Yoshio, T. Nishida, T. Kanto, E. Miyoshi, M. Tsujii, N. Hayashi	Oligosaccharide Alterations in IgG in Inflammatory Bowel Disease Is Not Associated with MBL Lectin	米国DDW	Chicago, USA	2009年5月31日-6月4日
S. Shinzaki, H. Iijima, T. Nakagawa, S. Egawa, S. Nakajima, J. Kondo, S. Ishii, Y. Kakiuchi, T. Nishida, T. Kanto, M. Tsujii, S. Tsuji, A. Kondo, E. Miyoshi, N. Hayashi	IgG oligosaccharide alterations are a novel diagnostic marker for disease activity and the clinical course of inflammatory bowel disease	米国DDW	San Diego	2008年5月20日
S. Nakajima, H. Iijima, S. Shinzaki, S. Egawa, J. Kondo, S. Ishii, Y. Kakiuchi, T. Nishida, M. Tsujii, S. Tsuji, N. Hayashi	Bone mineral density and biochemical markers of bone turnover in patients with inflammatory bowel disease	米国DDW	San Diego	2008年5月20日
S. Egawa, H. Iijima, S. Shinzaki, S. Nakajima, J. Kondo, S. Ishii, T. Yoshio, T. Nishida, Y. Kakiuchi, T. Kanto, M. Tsujii, S. Tsuji, N. Hayashi	Upregulation of E3 ubiquitin ligases related to T cell anergy in CD4+ T cells isolated from patients with ulcerative colitis in remission	米国DDW	San Diego	2008年5月20日
H. Iijima, S. Shinzaki, S. Egawa, S. Nakajima, J. Kondo, S. Ishii, Y. Kakiuchi, T. Nishida, T. Kanto, M. Tsujii, T. Nakagawa, A. Kondo, E. Miyoshi, S. Tsuji, N. Hayashi	Agalactosyl IgG observed in inflammatory bowel disease is associated with enhancement of antibody-dependent phagocytosis in human monocytic cell line	米国DDW	San Diego	2008年5月20日
T. NAGAIISHI, H. IIJIMA, A. NAKAJIMA, M. WATANABE, R. S. BLUMBERG	T cell inhibition by carcinoembryonic antigen cell adhesion molecule 1 in a colitis model	APDW2007	Kobe	2007年10月16日
J. KONDO, H. IIJIMA, M. TSUJII, S. TSUTSUI, A. NAKAMA, K. ISHIBASHI, M. KUBO, T. ABE, M. KOMORI, T. ITO, A. TAKEDA, Y. IWANAGA, S. TSUJII, N. HAYASHI	Indications and diagnostic yield in a series of 848 cases with suspected small bowel disease by double-balloon enteroscopy	APDW2007	Kobe	2007年10月16日
H. Iijima, M. Tsujii, S. Egawa, S. Shinzaki, S. Nakajima, T. Kanto, S. Tsuji, N. Hayashi	Lipoarabinomannan suppresses DSS colitis by modulating mucosal innate immunity in mice.	13th ICMI	Tokyo	2007年7月11日
S. Egawa, H. Iijima, M. Tsujii, S. Shinzaki, S. Nakajima, T. Kanto, S. Tsuji, N. Hayashi	Upregulation of GRAIL, an E3 ubiquitin ligase for induction of T cell anergy, in CD4+ T cells of patients with ulcerative colitis in remission state	13th ICMI	Tokyo	2007年7月11日
S. Shinzaki, H. Iijima, T. Nakagawa, S. Egawa, S. Nakajima, T. Kanto, M. Tsujii, S. Tsuji, A. Kondo, E. Miyoshi, N. Hayashi	New serologic marker for IBD based on the oligosaccharide analysis	13th ICMI	Tokyo	2007年7月11日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
S. Egawa, H. Iijima, S. Shinzaki, S. Nakajima, J. Kondou, S. Ishii, T. Yoshio, T. Irie, Y. Kakiuchi, T. Nishida, M. Yasumaru, M. Tsujii, S. Tsuji, N. Hayashi	Expression of Grail, An E3 Ubiquitin Ligase for Induction of T Cell Anergy, in CD4+ T Cells of Patients with Ulcerative Colitis	米国DDW	Washington DC	2007年5月21日
S. Shinzaki, H. Iijima, S. Egawa, S. Nakajima, S. Ishii, T. Yoshio, T. Irie, Y. Kakiuchi, T. Nishida, M. Yasumaru, T. Kanto, M. Tsujii, S. Tsuji, N. Hayashi	Cyclooxygenase-2 Regulates Toll-Like Receptor (TLR) 2 Expression and TLR2-Mediated Chemokine Production in Intestinal Epithelial Cells	米国DDW	Washington DC	2007年5月21日
Y. Hayashi, S. Tsuji, M. Tsujii, T. Nishida, S. Ishii, M. Komori, T. Irie, H. Iijima, H. Eguchi, N. Hayashi, S. Kawano	Transplantation of Bone Marrow-Derived Mesenchymal Stem Cells Ameliorated 2,4,6-Trinitrobenzene Sulfonic Acid (TNBS)-Induced Colitis in Rats	米国DDW	Washington DC	2007年5月21日
新崎信一郎、飯島英樹、柄川悟志、中島佐知子、井上隆弘、考藤達哉、三善英知、辻井正彦、林 紀夫	グライコミクスを用いた炎症性腸疾患診断・治療の可能性	JDDW 2009 (消化器病学会)	京都	2009年10月15日
中島佐知子、飯島英樹、林 紀夫	クローン病における成分栄養療法とビタミンK充足状態が骨密度および疾患活動性に及ぼす影響について	JDDW 2009 (消化吸収学会)	京都	2009年10月15日
新崎信一郎 黒木絵莉、竜中法佳、飯島英樹、三善英知	炎症性腸疾患におけるIgG糖鎖異常 血清学的マーカーとしての有用性に関する検討	日本臨床検査医学会	札幌	2009年8月30日
飯島英樹、新崎信一郎、黒木絵莉、柄川悟志、中島佐知子、井上隆弘、向井 章、考藤達哉、三善英知、辻井正彦、林 紀夫	炎症性腸疾患患者の診断および治療に対するIgG糖鎖構造解析の有用性	第46回消化器免疫学会	松山	2009年7月25日
中島佐知子、飯島英樹、井上隆弘、新崎信一郎、柄川悟志、林 義人、近藤純平、石井修二、西田 勉、筒井秀作、辻井正彦、林 紀夫	炎症性腸疾患患者における低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)の骨密度および疾患活動性との相関	第94回日本消化器病学会	札幌	2009年5月8日
新崎信一郎、飯島英樹、井上隆弘、中島佐知子、柄川悟志、石井修二、考藤達哉、三善英知、辻井正彦、林 紀夫	炎症性腸疾患におけるIgG糖鎖異常—ガラクトース転移酵素欠損マウスを用いた解析	第94回日本消化器病学会	札幌	2009年5月8日
中島佐知子、飯島英樹、林 紀夫	ビタミンK欠乏と炎症性腸疾患活動性との関連について	JDDW2008	東京	2008年10月2日
近藤純平、飯島英樹、辻 晋吾	Crohn病の診断と治療におけるダブルバルーン小腸内視鏡の有用性	JDDW2008	東京	2008年10月2日
井上隆弘、飯島英樹、中島佐知子、新崎信一郎、柄川悟志、山本克己、西田 勉、筒井秀作、辻井正彦、辻晋吾、林 紀夫	クローン病術後に対する小腸内視鏡検査の有用性と問題点	JDDW2008 (第76回消化器内視鏡学会総会)	東京	2008年10月2日
柄川悟志、飯島英樹、新崎信一郎、中島佐知子、井上隆弘、近藤純平、石井修二、由雄敏之、西田 勉、垣内佳美、考藤達哉、辻井正彦、辻晋吾、林 紀夫	マウス炎症性腸疾患におけるT細胞の免疫寛容の関与についての検討	第36回日本潰瘍学会総会	札幌	2008年9月6日
柄川悟志、飯島英樹、新崎信一郎、中島佐知子、井上隆弘、林 義人、石井修二、由雄敏之、西田 勉、考藤達哉、辻井正彦、吉原治正、林 紀夫	潰瘍性大腸炎患者におけるT細胞アナジの検討	第45回日本消化器免疫学会総会	京都	2008年7月4日
新崎信一郎、飯島英樹、林 紀夫	炎症性腸疾患におけるIgG糖鎖構造の変化—血清マーカーとしての可能性	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日
井上隆弘、飯島英樹、中島佐知子、新崎信一郎、柄川悟志、山本克己、西田 勉、筒井秀作、辻井正彦、辻晋吾、林 紀夫	クローン病における悪性腫瘍合併症例の検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日
柄川悟志、飯島英樹、新崎信一郎、中島佐知子、井上隆弘、近藤純平、石井修二、由雄敏之、西田 勉、垣内佳美、考藤達哉、辻井正彦、辻晋吾、林 紀夫	マウス炎症性腸疾患におけるT細胞の免疫寛容の関与についての検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日
飯島英樹、新崎信一郎、中島佐知子、柄川悟志、近藤純平、石井修二、由雄敏之、西田 勉、垣内佳美、考藤達哉、辻井正彦、辻晋吾、三善英知、林 紀夫	炎症性腸疾患に見られるガラクトース欠損IgGによるマクロファージ機能への影響の解析	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日
中島佐知子、飯島英樹、新崎信一郎、柄川悟志、近藤純平、石井修二、垣内佳美、西田 勉、辻井正彦、辻晋吾、林 紀夫	炎症性腸疾患患者における骨密度および骨代謝マーカーの検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
上ノ山直人、山本克己、西田 勉、井上隆弘、東谷光庸、小玉尚宏、山北剛史、新崎信一郎、井倉技、飯島英樹、筒井秀作、平松直樹、林 紀夫	レミケード投与後に小腸内視鏡下バルーン拡張術を施行しえた小腸型クローン病の一例	第80回日本消化器内視鏡学会近畿地方会	大阪	2008年3月2日
林 義人、上ノ山直人、小玉尚宏、東谷光庸、山本幸子、山本政司、糸瀬一陽、薬師神崇行、山本克己、西田 勉、飯島英樹、井倉 技、望月圭、筒井秀作、平松直樹、竹原徹郎、林 紀夫	クローン病に対するInfliximab加療中に発症し、mFOLF0X6治療が奏功した原発不明線癌の一例	日本消化器病学会近畿支部第88回例会	大阪	2008年2月17日
近藤純平、山田拓哉、山本克己、西田 勉、渡部健二、飯島英樹、平松直樹、筒井秀作、辻井正彦、辻 晋吾、林 紀夫	小腸ダブルバルーン内視鏡により診断しえたEBV感染を伴うGVHD腸炎の一例	DDW-Japan 2007 (第74回内視鏡、消化器)	神戸	2007年10月19日
中島佐知子、飯島英樹、新崎信一郎、柄川悟志、近藤純平、石井修二、入江孝延、垣内佳美、西田 勉、安丸正一、辻井正彦、辻 晋吾、林 紀夫	炎症性腸疾患患者における骨密度および骨代謝マーカーの検討	DDW-Japan 2007	神戸	2007年10月19日
新崎信一郎、飯島英樹、中島佐知子、柄川悟志、考藤達哉、三善英知、辻井正彦、辻 晋吾、吉原治正、林 紀夫	IgG糖鎖解析に基づく新たなクローン病診断法	DDW-Japan 2007	神戸	2007年10月19日
近藤純平、飯島英樹、辻 晋吾	Crohn病の診断と治療におけるダブルバルーン小腸内視鏡の有用性	第79回日本消化器内視鏡学会近畿地方会	大阪	2007年9月30日
井上隆弘、飯島英樹、林 紀夫	クローン病に対するAzathioprineの治療成績	第87回日本消化器病学会近畿支部例会	大阪	2007年9月9日
柄川悟志、飯島英樹、新崎信一郎、中島佐知子、考藤達哉、辻井正彦、辻 晋吾、吉原治正、林 紀夫	潰瘍性大腸炎の緩解維持にT細胞のアナジー	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月20日
飯島英樹、新崎信一郎、林 紀夫	レクチンを介した自然免疫系制御による炎症	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月20日
新崎信一郎、飯島英樹、中島佐知子、	糖鎖解析に基づく炎症性腸疾患の新たな血清マーカー	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月20日
飯塚政弘、伊多波未来、相良志穂	シンポジウム4 メタボリック症候群におけるNAFLD、NASH合併リスクの解析	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14日
飯塚政弘、相良志穂、堀江泰夫、進藤健一	ワークショップ5. 粘膜防御因子増強薬の腸上皮細胞保護作用に関する検討	第4回日本消化管学会総会	東京	2009年2月12日
相良志穂、姉崎由美子、飯塚政弘、堀江泰夫、大西洋英	ARDSを合併した重症潰瘍性大腸炎の1例	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月10日
飯塚政弘、相良志穂、堀江泰夫、大西洋英	パネルパネルディスカッション・潰瘍性大腸炎難治例に対する血球生成成分吸着除去療法の効果一特に治療効果予測因子と長期予後について	第184回日本消化器病学会東北支部例会	仙台	2008年2月23日
飯塚政弘、堀江泰夫、相良志穂	ワークショップ3. クローン病高度難治例の今後の問題点-immunomodulatorの使用経験も含めて	第4回日本消化管学会総会	大阪	2008年2月7日
飯塚政弘、堀江泰夫、渡辺純夫	ワークショップ13 消化管上皮細胞分化・増殖制御による疾患治療。上皮細胞分化形態形成蛋白epimorphinの腸上皮細胞保護作用に関する検討	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月19日
Uchino, M., Ikeuchi, H., Matsuoka, H., Ohshima, T., Nakamura, M., Ichiki, K., Tsuchida, T., Nakajima, K., Tomita, N. and Takesue, Y.	Surgical site infection (SSI) following surgery for inflammatory bowel disease (IBD)	48th Interscience Conference on Antimicrobial Agents and Chemotherapy (ICAAC 2008)	Washington D. C	2008年10月25-28日
Chohno, T., Ikeuchi, H., Uchino, M., Nakamura, M., Matsuoka, H., Tomita, N., Hori, K., Nakamura, S. and Matsumoto, T.	Diffuse gastroduodenitis and pouchitis associated with ulcerative colitis	The 3rd Japan-Korea IBD Symposium	Seoul	2008年9月20日
Yokoyama, Y., Fukunaga, K., Ikeuchi, H., Kamikaozuru, K., Tazawa, K., Uchino, M., Yoshida, K., Hida, N., Nakamura, S., Miwa, H. and Matsumoto, T.	The expression of CD25 high CD4+ T-cells and CD28-CD4+ T-cells in ulcerative colitis	The 3rd Japan-Korea IBD Symposium	Seoul	2008年9月20日
Uchino, M., Takesue, Y., Ikeuchi, H., Nakano, H., Nakamura, M., Matsuoka, H. and Tomita, N.	Surgical site infection following surgery for inflammatory bowel disease, result of prospective surveillance	American Society of Colon & Rectal Surgeons 2008	Boston	2008年6月7-11日
Uchino, M., Ikeuchi, H., Nakano, H., Nakamura, M., Matsuoka, H., Takesue, Y., Fukuda, Y., Tomita, H., Hida, N., Nakamura, S., Matsumoto, T. and Tomita, N.	Usefulness of FDG-PET for Crohn's disease	The 2nd Korea-Japan IBD Symposium	Tokyo	2007年11月30日-12月1日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Ikeuchi, H., Nakano, H., Uchino, M., Nakamura, M., Matsuoka, H., Fukuda, Y., Matsumoto, T., Takesue, Y. and Tomita, N.	Intestinal cancer in Crohn's disease	The 2nd Korea-Japan IBD Symposium	Tokyo	2007年11月30日-12月1日
Uchino, M., Ikeuchi, H., Matsuoka, H., Ohshima, T., Tsukamoto, K., Nakamura, M., Gega, M., Yagyu, T., Noda, M. and Tomita, N.	Post operative enteroenteric intussusception in Crohn's disease	11th Congress of Asian Federation of Coloproctology	Tokyo	2007年9月20-22日
Ikeuchi, H., Nakano, H., Uchino, M., Nakamura, M., Matsuoka, H. and Tomita, N.	One-stage restorative proctocolectomy without diverting ileostomy for ulcerative colitis	11th Congress of Asian Federation of Coloproctology	Tokyo	2007年9月20-22日
谷口和孝, 池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 蝶野晃弘, 富田尚裕	22歳でcolitic cancerの合併を認めた, 若年発症潰瘍性大腸炎の1例	第71回日本臨床外科学会総会	京都	2009年11月19-21日
内野 基, 池内浩基, 蝶野晃弘, 松岡宏樹, 竹末芳生, 富田尚裕	筋膜十字切開法によるloop式回腸人工肛門造設と排出障害予防効果	第71回日本臨床外科学会総会	京都	2009年11月19-21日
池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 蝶野晃弘, 竹末芳生, 富田尚裕	病態からみたクローン病症例の適切な手術時期 (ワークショップ)	第71回日本臨床外科学会総会	京都	2009年11月19-21日
内野 基, 池内浩基, 蝶野晃弘, 松岡宏樹, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	クローン病肛門病変に対する術後inflixmab投与の効果 (ワークショップ)	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 蝶野晃弘, 富田尚裕, 竹末芳生, 福田能啓, 松本譽之	クローン病の手術適応とタイミング (ワークショップ)	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 蝶野晃弘, 竹末芳生, 富田尚裕, 松本譽之	潰瘍性大腸炎手術症例の長期予後 (パネルディスカッション)	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 蝶野晃弘, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎, 大腸全摘, 直腸粘膜切除, J型回腸囊肛門吻合術における小開腹手術 (ビデオシンポジウム)	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 蝶野晃弘, 竹末芳生, 富田尚裕, 松本譽之	潰瘍性大腸炎の術前内科治療の変遷と術式の選択 (シンポジウム)	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
蝶野晃弘, 内野 基, 松岡宏樹, 池内浩基, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	痔瘻発症後17年, 人工肛門造設後5年で痔瘻癌を合併したクローン病の1例	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
佐々木寛文, 内野 基, 松岡宏樹, 池内浩基, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	手術前に壊疽性膿皮症を合併した潰瘍性大腸炎の1例	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
賀来佳子, 内野 基, 松岡宏樹, 池内浩基, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	術直後にPosterior reversible encephalopathy syndrome (PRES)を併発した小児潰瘍性大腸炎の1手術例	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
松岡宏樹, 内野 基, 平田晃弘, 池内浩基, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	回腸膀胱瘻の長期間放置により発癌したクローン病の1例	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹	炎症性腸疾患のサーベイランスにFDG-PET検査は有用か? (シンポジウム)	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14-17日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 松本譽之, 竹末芳生, 富田尚裕	十二指腸瘻を合併したクローン病手術症例の検討	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14-17日
松岡宏樹, 内野 基, 池内浩基, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎に対する外科手術適応の変遷. (シンポジウム)	日本消化器病学会近畿支部第91回例会	京都	2009年9月12日
池内浩基	高齢者の潰瘍性大腸炎の問題点	第14回関西腸疾患セミナー	大阪	2009年8月7日
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	人工肛門造設術を行ったクローン病奨励の要因別の予後と永久人工肛門となる危険因子の検討	第64回日本消化器外科学会総会	大阪	2009年7月16-18日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 田中慶太, 山岸大介, 久野隆史, 塚本潔, 外賀 真, 竹末芳生, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎, 小児手術症例の検討	第64回日本消化器外科学会総会	大阪	2009年7月16-18日
池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹, 富田尚裕	クローン病短腸症候群症例の検討. (ワークショップ)	第34回日本外科系連合学会学術集会	東京	2009年6月18-19日
内野 基, 池内浩基, 坂東俊宏, 松岡宏樹, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎術後, 創部壊疽性膿皮症を併発し治療に難渋した1例	第185回近畿外科学会	神戸	2009年6月13日
松岡宏樹, 池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 野田雅史, 外賀 真, 塚本潔, 大嶋 勉, 久野隆史, 田中慶太, 山岸大介, 平田晃弘, 小林政義	潰瘍性大腸炎に合併するcolitic cancerの診断で手術後にクローン病と病名変更となった1症例	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7-9日
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 富田尚裕, 松本譽之	潰瘍性大腸炎手術症例の手術適応と長期予後	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7-9日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 平田晃弘, 大嶋 勉, 一木 薫, 土田敏恵, 中嶋一彦, 富田尚裕, 竹末芳生	潰瘍性大腸炎手術における手術部位感染 (SSI)の検討	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009年4月2-4日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	クローン病に対する外科的治療の術後QOLと長期成績。(パネルディスカッション)	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009年4月2-4日
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 竹末芳生, 山村武平, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎に合併したcolitic cancerに対するFDG-PET検査の有用性の検討	第70回日本臨床外科学会総会	東京	2008年11月27-29日
蝶野晃弘, 池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 山村武平, 富田尚裕	Colitic cancerの合併を強く疑ったクローン病の1例	第70回日本臨床外科学会総会	東京	2008年11月27-29日
中村光宏, 池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 外賀 真, 大嶋 勉, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	術後経過が特異であった潰瘍性大腸炎一卵性双生児患者の一家系	第70回日本臨床外科学会総会	東京	2008年11月27-29日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 大嶋 勉, 一木 薫, 土田敏恵, 中嶋一彦, 川井めぐみ, 波々伯部公美, 富田尚裕, 竹末芳生	炎症性腸疾患, 人工肛門造設手術における手術部位感染 (SSI) の検討	第21回日本外科感染症学会総会学術集会	札幌	2008年11月5-7日
平田晃弘, 内野 基, 松岡宏樹, 大嶋 勉, 中村光宏, 中埜廣樹, 池内浩基, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	回腸直腸吻合術後17年で残存直腸癌を合併した潰瘍性大腸炎の1例	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
池内浩基	クローン病に対する外科治療の現状と新たな可能性 レミケードによる短腸症候群・人工肛門からの回避の可能性を求めて(ランチョンセミナー)	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
松岡宏樹, 池内浩基, 中埜廣樹, 中村光宏, 平田晃弘, 内野 基, 富田尚裕	成長ホルモン分泌不全性低身長症に合併したクローン病症例の検討	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 竹末芳生, 福田能啓, 富田寿彦, 中村志郎, 松本譽之, 富田尚裕	術後に潰瘍性大腸炎からクローン病に病名変更となった症例の予後と今後の課題	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
内野 基, 池内浩基, 平田晃弘, 松岡宏樹, 大嶋 勉, 中村光宏, 中埜廣樹, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	Colitic cancer手術症例の検討	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 竹末芳生, 福田能啓, 富田寿彦, 中村志郎, 松本譽之, 富田尚裕	クローン病の手術適応からみた治療方針と今後の課題	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 中村光宏, 中埜廣樹, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	クローン病変に対する狭窄形成術91症例の検討	第50回日本消化器病学会大会 (JDDW 2008)	東京	2008年10月1-4日
池内浩基, 内野 基, 富田尚裕	クローン病手術症例からみた今後の治療方針	第50回日本消化器病学会大会 (JDDW 2008)	東京	2008年10月1-4日
池内浩基	炎症性腸疾患手術症例の変遷	平成20年度第2回兵庫医科大学医学会学術講演会	西宮	2008年9月25日
大嶋 勉, 竹末芳生, 松岡宏樹, 田中慶太, 久野隆史, 中村光宏, 外賀真, 内野 基, 池内浩基, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎手術における術前1日経口抗菌薬投与の有用性 無作為比較試験による検討	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16-18日
内野 基, 竹末芳生, 一木 薫, 土田敏恵, 松岡宏樹, 中村光宏, 中埜廣樹, 池内浩基, 富田尚裕	炎症性腸疾患手術における手術部位感染 (SSI) の検討	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16-18日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎手術症例1000例の検討	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16-18日
松岡宏樹, 池内浩基, 中埜廣樹, 中村光宏, 内野 基, 大嶋 勉, 塚本 潔, 野田雅史, 富田尚裕	クローン病短腸症候群症例の栄養管理の問題点	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16-18日
蝶野晃弘, 内野 基, 松岡宏樹, 大嶋 勉, 中村光宏, 中埜廣樹, 池内浩基, 富田尚裕	サーベイランス後2年で進行大腸癌を合併したcolitic cancerの1例	第183回近畿外科学会	大阪	2008年5月31日
應田義雄, 樋田信幸, 日下 剛, 橋本 学, 吉田幸治, 野上晃司, 林慶紀, 上小鶴孝二, 戸澤勝之, 神野良男, 福永 健, 大西国夫, 中村志郎, 堀 和敏, 西上隆之, 中埜廣樹, 池内浩基, 富田尚裕, 三輪洋人, 松本譽之	カプセル内視鏡で全小腸に多発する潰瘍を確認できた高齢発症腸管ペーチェット病の1例	第75回日本消化器内視鏡学会総会	横浜	2008年5月24-26日
松岡宏樹, 池内浩基, 中埜廣樹, 中村光宏, 内野 基, 田中慶太, 久野隆史, 大嶋 勉, 塚本 潔, 外賀真, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎患者stoma関連性合併症の検討	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月15-17日
内野 基, 竹末芳生, 松岡宏樹, 田中慶太, 久野隆史, 大嶋 勉, 塚本 潔, 中村光宏, 外賀 真, 中埜廣樹, 野田雅史, 池内浩基, 富田尚裕	炎症性腸疾患手術における手術部位感染 (SSI) の検討	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月15-17日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 竹末芳生, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎手術症例の手術適応と長期経過	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月15-17日
池内浩基, 内野 基, 中埜廣樹, 松岡宏樹, 田中慶太, 久野隆史, 大嶋勉, 塚本 潔, 外賀 真, 野田雅史, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	高齢者潰瘍性大腸炎患者に対する術式の選択と予後の検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日
池内浩基, 内野 基, 富田尚裕	クローン病手術症例の長期予後の検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月8-10日
松岡宏樹, 池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 富田尚裕	2回の緊急手術を要した潰瘍性大腸炎の1例	第44回日本腹部救急医学会総会	横浜	2008年3月14-15日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 野田雅史, 富田尚裕	高齢者潰瘍性大腸炎, 緊急手術症例の問題点	第44回日本腹部救急医学会総会	横浜	2008年3月14-15日
松本譽之, 上小鶴孝二, 福永 健, 戸澤勝之, 横山陽子, 吉田幸治, 日下 剛, 應田義雄, 樋田信幸, 大西国夫, 中村志郎, 池内浩基	難治性急性期潰瘍性大腸炎患者の早期予後予測因子としての末梢血および粘膜免疫制御性T細胞	厚生労働科学研究補助金難治性疾患克服研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成19年度第2回総会	東京	2008年2月14-15日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 富田尚裕, 福田能啓, 中村志郎, 松本譽之	潰瘍性大腸炎, クローン病に合併したcolitic cancerに対するPET検査所見の検討	厚生労働科学研究補助金難治性疾患克服研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成19年度第2回総会	東京	2008年2月14-15日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 大嶋 勉, 塚本 潔, 中村光宏, 中埜廣樹, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	Back wash ileitisを合併した潰瘍性大腸炎の3例	第4回日本消化管学会総会学術集会	大阪	2008年2月7-8日
中村光宏, 池内浩基, 内野 基, 中埜廣樹, 野田雅史, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	長期生存しているクローン病に合併した進行直腸癌の1例	第4回日本消化管学会総会学術集会	大阪	2008年2月7-8日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	空置的人工肛門造設術を行ったクローン病患者の臨床的特徴および予後	第4回日本消化管学会総会学術集会	大阪	2008年2月7-8日
池内浩基	重症ステロイド抵抗例潰瘍性大腸炎-手術-	第4回日本炎症性腸疾患研究会学術集会	東京	2007年12月1-2日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎症例の手術適応と術式 (パネルディスカッション)	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日-12月1日
松岡宏樹, 池内浩基, 中埜廣樹, 中村光宏, 内野 基, 田中慶太, 久野隆史, 大嶋 勉, 塚本 潔, 外賀 真, 野田雅史, 富田尚裕	肺梗塞後に大腸全摘出術を行った潰瘍性大腸炎の一例	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日-12月1日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 外賀 真, 久野隆史, 田中慶太, 松岡宏樹, 大嶋 勉, 塚本 潔, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	直腸切断術を余儀なくされたクローン病症例の検討	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日-12月1日
中村光宏, 池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 外賀 真, 大嶋 勉, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	クローン病穿孔症例の検討	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日-12月1日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 田中慶太, 久野隆史, 塚本 潔, 大嶋 勉, 中村光宏, 外賀 真, 中埜廣樹, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	クローン病におけるPETの有用性と問題点	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日-12月1日
久野隆史, 池内浩基, 野田雅史, 中埜廣樹, 内野 基, 外賀 真, 中村光宏, 塚本 潔, 田中慶太, 松岡宏樹, 西上隆之, 竹末芳生, 富田尚裕	小腸膀胱瘻部に粘液癌を合併したクローン病の1例	第62回日本大腸肛門病学会学術集	東京	2007年11月2-3日
中埜廣樹, 池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 柳生利彦, 外賀 真, 大嶋 勉, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	急激な経過をたどったクローン病に合併した直腸癌の1例	第62回日本大腸肛門病学会学術集	東京	2007年11月2-3日
松岡宏樹, 池内浩基, 田中慶太, 久野隆史, 大嶋 勉, 中村光宏, 外賀 真, 内野 基, 中埜廣樹, 野田雅史, 富田尚裕	親子発症の潰瘍性大腸炎に対し, J型回腸囊肛門吻合術を行った1家系	第62回日本大腸肛門病学会学術集	東京	2007年11月2-3日
大嶋 勉, 池内浩基, 松岡宏樹, 田中慶太, 久野隆史, 中村光宏, 外賀 真, 内野 基, 中埜廣樹, 野田雅史, 竹末芳生, 西上隆之, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎に合併した微小カルチノイドの4例	第62回日本大腸肛門病学会学術集	東京	2007年11月2-3日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 柳生利彦, 外賀 真, 大嶋 勉, 野田雅史, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎に対する肛門管粘膜切除部に癌の合併を認めた症例の検討	第62回日本大腸肛門病学会学術集	東京	2007年11月2-3日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 柳生利彦, 外賀 真, 大嶋 勉, 野田雅史, 竹末芳生, 松本譽之, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎に対する1期的J型回腸肛門吻合術の現状と問題点	第62回日本大腸肛門病学会学術集	東京	2007年11月2-3日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
内野 基, 池内浩基, 大嶋 勉, 中村光宏, 中埜廣樹, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	クローン病肛門病変に対する手術108症例の検討	第62回日本大腸肛門病学会学術集	東京	2007年11月2-3日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 竹末芳生, 富田尚裕, 松本譽之	潰瘍性大腸炎術後の周術期合併症と長期予後 (シンポジウム)	第25回日本大腸検査学会総会	東京	2007年9月8-9日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 富田尚裕, 福田能啓, 松本譽之	新しい診断デバイス利用による診療の工夫	難治性炎症性腸疾患患障害に関する調査研究平成19年度第1回総会	東京	2007年7月26-27日
内野 基, 竹末芳生, 一木 薫, 大嶋 勉, 外賀 真, 中埜廣樹, 野田雅史, 池内浩基, 柳 秀憲, 山村武平	炎症性腸疾患手術におけるSSIの比較検討	第62回日本消化器外科学会定期学術総会	東京	2007年7月18-20日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 野田雅史, 柳 秀憲, 竹末芳生, 山村武平	クローン病手術症例500例からみた今後の問題点	第62回日本消化器外科学会定期学術総会	東京	2007年7月18-20日
鳥居良貴, 山本格士, 松田育雄, 羽尾裕之, 廣田誠一, 池内浩基, 松浦成昭	潰瘍性大腸炎患者における大腸洗浄液細胞診の検討-第1報-	第48回日本臨床細胞学会総会	千葉	2007年6月7-9日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 野田雅史, 柳 秀憲, 山村武平	潰瘍性大腸炎に対するJ型回腸囊肛門吻合術 (シンポジウム)	第61回手術手技研究会	新潟	2007年5月19日
池内浩基	クローン病長期経過例の問題点-インフリキシマブは人工肛門を回避できるか- (特別講演)	第11回大阪クローン病治療研究会	大阪	2007年4月27日
富田寿彦, 近藤 隆, 吉田幸治, 田中淳二, 林千鶴子, 金 庸民, 森田毅, 大島忠之, 小坂 正, 堀 和敏, 福田能啓, 松本譽之, 三輪洋人, 中村光宏, 内野 基, 中埜廣樹, 池内浩基, 山村武平	当院におけるクローン病の癌化症例	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月20-21日
池内浩基, 富田寿彦, 福田能啓	クローン病長期経過症例の問題点 (パネルディスカッション)	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月20-21日
池内浩基, 内野 基, 松本譽之	潰瘍性大腸炎患者における術前血球成分除去療法が術後合併症に与える影響 (パネルディスカッション)	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月20-21日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 柳生利彦, 外賀 真, 大嶋 勉, 久野隆史, 橋本明彦, 野田雅史, 柳 秀憲, 山村武平	クローン病に合併したcolitic cancer症例の検討	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月11-13日
内野 基, 池内浩基, 中村光宏, 中埜廣樹, 野田雅史, 柳 秀憲, 山村武平	穿孔にて手術適応となった潰瘍性大腸炎28症例における特徴と予後について	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月11-13日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 野田雅史, 柳 秀憲, 竹末芳生, 山村武平	イレウスを繰り返した, 慢性関節リウマチにクローン病を合併した1例	第43回日本腹部救急医学会総会	東京	2007年3月8-9日
中村光宏, 池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 野田雅史, 柳 秀憲, 山村武平	クローン病に合併した直腸癌の一例	第3回日本消化管学会総会学術集会	東京	2007年2月1-2日
池内浩基, 中埜廣樹, 内野 基, 中村光宏, 野田雅史, 柳 秀憲, 松本譽之, 竹末芳生, 山村武平	潰瘍性大腸炎における超高齢者 (70歳以上) 手術症例の検討	第3回日本消化管学会総会学術集会	東京	2007年2月1-2日
河野友彰, 應田義雄, 井上 拓, 戸澤勝之, 上小鶴孝二, 樋田信幸, 福永 健, 堀 和敏, 内野 基, 中埜廣樹, 池内浩基, 中嶋一彦, 竹末芳生, 山村武平, 三輪洋人, 松本譽之, 福田勝英	重篤なMRSA肺炎を合併したが救命しえた激症潰瘍性大腸炎の1例	第3回日本消化管学会総会学術集会	東京	2007年2月1-2日
Yoh Ishiguro, Hirotake Sakuraba, Shogo Kawaguchi, Hiroto Hiraga, Shinsaku Fukuda.	MDR1 Positive CD8 ⁺ Dim T Cells were Predominant in Glucocorticoids Refractory Cases with UC	14th International Congress of Mucosal Immunology	Boston Marriott Copley Place	2009年7月7日
Hirotake Sakuraba, Yoh Ishiguro, Satoko Yamaguchi, Hiroto Hiraga, Shogo Kawaguchi, Shinsaku Fukuda	TNF- α Production was Specifically Enhanced by Streptococcus Sanguis Cell Walls through PKR Related Pathway in Behçet's Disease	14th International Congress of Mucosal Immunology	Boston Marriott Copley Place	2009年7月7日
Hiroto Hiraga, Yoh Ishiguro, Hirotake Sakuraba, Shogo Kawaguchi, Shinsaku Fukuda.	Lack of Vitamin A Impaired Innate Immunity and Exacerbated Dss-induced Colitis	14th International Congress of Mucosal Immunology	Boston Marriott Copley Place	2009年7月6日
Shogo Kawaguchi, Yoh Ishiguro, Hirotake Sakuraba, Hiroto Hiraga, Shinsaku Fukuda.	Retinoic Acid-inducible Gene-1 is Constitutively Expressed and Involved in IFN- γ -stimulated CXCL9-11 Production in Intestinal Epithelial Cells	14th International Congress of Mucosal Immunology	Boston Marriott Copley Place	2009年7月6日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
H. Sakuraba, Y. ISHIGURO, S. KAWAGUCHI, Y. SATO, H. HIRAGA, S. YAMAGUCHI, K. YAMAGATA, K. SHIMAYA S. FUKUDA	Cyclosporin A prevented apoptosis-mediated epithelial injury through transforming growth factor- β related pathway	Japan & US Collaboration Conference in Gastroenterology (JUCC)	Tokyo	2007年11月16日
Y. ISHIGURO, S. KAWAGUCHI, H. FUJITA H. SAKURABA, S. KOUJI, Y. SATOU, K. YAMAGATA, S. FUKUDA	MDR1 Positive CD8beta low T cells In Refractory UC	13th ICMI	Tokyo	2007年7月12日
S. Kwaguchi, Y. ishiguro, H. Fujita, S. Sakuraba, Y. SATO, H. HIRAGA, S. YAMAGUCHI, K. YAMAGATA, K. SHIMAYA S. FUKUDA	HSP-70 HAS AN ANTI-INFLAMMATORY EFFECTS AND REDUCED IN REFRACOTRY ULCERATIVE COLITIS PATIENTS	13th ICMI	Tokyo	2007年7月11日
H. HIRAGA, Y. ISHIGURO, H. Sakuraba, S. KAWAGUCHI, Y. SATO, S. YAMAGUCHI, K. YAMAGATA, K. SHIMAYA, S. FUKUDA	Vitamin A-deficiency exacerbates acute intestinal inflammation by impaired macrophage activation	13th ICMI	Tokyo	2007年7月10日
H. Sakuraba, Y. ISHIGURO, S. KAWAGUCHI, Y. SATO, H. HIRAGA, S. YAMAGUCHI, K. YAMAGATA, K. SHIMAYA S. FUKUDA	Cyclosporin A prevented apoptosis-mediated epithelial injury through transforming growth factor- β related pathway	13th ICMI	Tokyo	2007年7月10日
Yoh Ishiguro	Lack of Vitamin A Impaired Mucosal Barrier Funtion and Exacerbated DSS-induced Colitis	4th JSGE-AGA Joint Meeting	Aomori	2007年4月20日
櫻庭 裕丈、石黒 陽、福田 眞作	シンポジウム 臨床・前臨床で検討されている分子標的薬の作用機序あるいは効果予測に関する基礎的・臨床的研究-シクロスポリンによるTGF- β シグナルを介した腸上皮アポトーシスの制御	第17回浜名湖シンポジウム	アクシテイ浜松コンgresセンター	2009年12月22日
櫻庭 裕丈、石黒 陽、福田 眞作	ワークショップ「IBDの手術適応とタイミング(外科、内科の立場から)」クローン病狭窄病変に対するステロイド(SH)併用Infliximab(IFX)に関する再考	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡国際会議場	2009年11月6日
櫻庭 裕丈、石黒 陽、藤田 均、佐藤 裕紀、川口 章吾、平賀 寛人、福田 眞作	シンポジウム 炎症性腸疾患の免疫病態と治療法の新しい展開 Heat Shock Protein(HSP)-70の抗炎症作用とGeranylgeranylacetone(GGA)による誘導効果	第46回日本消化器免疫学会総会	松山全日空ホテル	2009年7月24日
佐藤 裕紀、平賀 寛人、石黒 陽	粘膜バリアー機能におけるVITAMIN Aの役割	第49回日本消化器病学会大会シンポジウム	神戸	2007年10月20日
山形 和史、石黒 陽、櫻庭 裕丈、辻 剛俊、島谷 孝司、山口 佐都子、川口 章吾、佐藤 裕紀、福田 眞作、棟方 昭博	当科クローン病症例におけるInfliximab 反復投与の検討	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月19日
島谷 孝司、櫻庭 裕丈、石黒 陽	潰瘍性大腸炎における新たな治療標的・マーカーとしてのp-glycoprotein発現CD8 \cdot ・T細胞	第93回日本消化器病学会総会 パネルディスカッション	青森	2007年4月21日
平賀 寛人、石黒 陽、棟方 昭博	ビタミンAによるマクロファージの機能調節と生態防御	第93回日本消化器病学会総会シンポジウム	青森	2007年4月19日
Otani A, Ishihara S, Aziz MM, Mishima Y, Oshima N, Kadota C, Oka A, Kusunoki R, Moriyama I, Amano Y, Kinoshita Y	Intrarectal administration of MFG-E8 protein ameliorates murine experimental colitis by inhibiting NF- κ B activation in intestinal epithelial cells	Digestive Disease Week 2009	Chicago	2009年6月3日
Mishima Y, Ishihara S, Aziz M, Oshima N, Otani A, Oka A, Kusunoki R, Moriyama I, Amano Y, Kinoshita Y	Decreased production of IL-10 and TGF- β in TLR-activated intestinal B cells in SAMPI/Yit mice.	Digestive Disease Week 2009	Chicago	2009年6月1日
Ishihara S, Aziz M, Mishima Y, Oshima N, Otani A, Oka A, Kusunoki R, Moriyama I, Ishimura M, Li YY, Amano Y, Kinoshita Y	Crosstalk between Notch and toll signaling in murine colitis.	Digestive Disease Week 2009	Chicago	2009年5月31日
Oshima N, Ishihara S, Rumi MAK, Aziz MM, Mishima Yo, Kadota C, Moriyama I, Ohtani A, Oka A, Li YY, Kadowaki Y, Amano Y, Kinoshita Y	A20 is an early responsive negative regulator of Toll-like receptor signaling in intestinal epithelial cells during inflammation	Digestive Disease Week 2008	Sangiego	2008年5月22日
Ishihara S, Aziz M, Rumi MA, Oshima N, Mishima Y, Kadota C, Otani A, Oka A, Norihisa I, Moriyama I, Kadowaki Y, Amano Y, Kinoshita Y	Milk fat globule EGF-8 attenuates intestinal inflammation in murine experimental colitis via inhibition of NF- κ B activation	Digestive Disease Week 2008	Sangiego	2008年5月19日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Mishima Y, Ishihara S, Aziz MM, Rumi MAK, Oshima N, Kadota C, Moriyama I, Li YY, Ohtani A, Oka A, Kadowaki Y, Amano Y, Kinoshita Y	Intestinal CD5+ B cells produce IL-10 and TGF- β via Toll-like receptor-mediated signaling	Digestive Disease Week 2008	Santiago	2008年5月18日
Mishimal Y, Ishihara S, Rumi MA, Aziz MM, Moriyama I, Kadota C, Oshima N, Norihisa I, Kzumori H, Kadowaki Y, Amano Y, Kinoshita Y	Toll-like receptor 9-signaling mediates innate immune response in murine intestinal CD5+ B cells	Digestive Disease week	Washington DC	2007年5月21日
Moriyama I, Ishihara S, Rumi MA, Aziz MM, Mishimal Y, Oshima N, Kadota C, Otani A, Kinoshita Y	Decoy oligodeoxynucleotides targeting AP-1 and NF- κ B attenuate intestinal inflammation in murine experimental colitis	Digestive Disease week	Washington DC	2007年5月20日
三島義之, 石原俊治, 木下芳一	クローン病モデルマウスにおけるIL-10産生腸管制御性B細胞に関する検討	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14日
三島義之, 石原俊治, 楠 龍策, 岡明彦, 大谷 文, 大嶋直樹, 森山一郎, 天野祐二, 木下芳一	クローン病モデルマウスにおけるIL-10産生B細胞に関する検討	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月9日
大谷 文, 石原俊治, 大嶋直樹, 三島義之, 岡 明彦, 楠 龍策, 森山一郎, 天野祐二, 木下芳一	精製MFG-E8蛋白の経肛門的投与による実験腸炎抑制の試み	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月9日
三島義之, 石原俊治, 大谷 文, 天野祐二, 木下芳一	炎症性腸疾患の末梢血CD5陽性B細胞の解析	第5回日本消化管学会	東京	2009年2月12日
大嶋直樹, 石原俊治	下部消化管の炎症と機能相関をめぐって消化管上皮の自然免疫応答におけるA20発現の意義	第50回日本消化器病学会大会	東京	2008年10月3日
三島義之, 石原俊治, 岡 明彦, 大谷 文, 大嶋直樹, 角田 力, 森山一郎, 天野祐二, 木下芳一	消化管粘膜におけるIL-10、TGF- β 産生B細胞に関する検討	第50回日本消化器病学会大会	東京	2008年10月1日
大嶋直樹, 石原俊治, 大谷 文, 角田 力, 三島義之, 森山一郎, 天野祐二, 木下芳一	消化管上皮細胞の自然免疫応答におけるToll受容体シグナルの負の制御機構の意義	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月19日
三島義之, 石原俊治, 大嶋直樹, 森山一郎, 角田 力, 大谷 文, 門脇泰憲, 天野祐二, 木下芳一	消化管粘膜内CD5陽性B細胞の自然免疫応答	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月19日
石原俊治, 木下芳一	Milk fat globule-EGF factor8 (MFG-E8) によるToll受容体シグナルの制御と消化管粘膜の抗炎症作用における意義	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月19日
森山一郎, 石原俊治, 三島義之, 大嶋直樹, 角田 力, 大谷 文, 石村典久, 門脇泰憲, 天野祐二, 足立経一, 木下芳一	AP-I dsDNA decoyによる炎症性腸疾患の新規治療の検討	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月19日
三島義之, 石原俊治, 大嶋直樹, 角田 力, 大谷 文, 森山一郎, 石村典久, 木下芳一	炎症性腸疾患患者における末梢血中のCD5陽性細胞の検討	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月19日
Nakajima K. Nezu R. Ito T. Nishida T.	Role of Hand-assisted Laparoscopic Surgery in the Surgical Treatment of Ulcerative Colitis	11th World Congress of Endoscopic Surgery	Yokohama	2008年9月5日
Nakajima K. Nezu R. Ito T. Nishida T.	Hand assisted laparoscopic surgery for severe ulcerative colitis in a semi-emergency setting	11th World Congress of Endoscopic Surgery	Yokohama	2008年9月3日
Nakajima K. Nezu R. Ito T. Nishida T.	Hand assisted laparoscopic surgery for severe ulcerative colitis in a semi-emergency setting	Society of American Gastrointestinal Endoscopic Surgeons Scientific Session 2008	Philadelphia	2008年4月11日
Nakajima K. Nezu R. Kai Y. Yasumasa K. Nomura M. Ito T. Nishida T.	Minimally invasive approaches to complex crohn's disease: the current role of hals in extensive colectomy	Society of American Gastrointestinal Endoscopic Surgeons Scientific Session 2007	Las Vegas	2007年4月18-22日
根津理一郎	潰瘍性大腸炎における腹腔鏡補助下手術の手技	第1回IBD Surgical Forum	福岡	2009年11月7日
澤田元太, 廣田昌紀, 辻谷友香子, 西村潤一, 吉田陽一郎, 金 鏞国, 長谷川順一, 根津理一郎	回腸囊肛門管吻合術後の肛門病変合併クローン病に対するInfliximab投与の経験	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
廣田昌紀, 中島清一, 長谷川順一, 金 鏞国, 吉田陽一郎, 西村潤一, 澤田元太, 辻谷友香子, 根津理一郎	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊関連合併症に対するsalvage手術: 経肛門的アプローチの意義	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
水島恒和, 中島清一, 甲斐康之, 玉川浩司, 松田 宙, 山本浩文, 池田正孝, 竹政伊知朗, 関本貢嗣, 西田俊朗, 根津理一郎, 伊藤壽記, 土岐祐一郎, 森 正樹	クローン病患者における大腸癌罹患率の検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6-7日
根津理一郎	小児IBD これだけは知っておきたい 外科治療のタイミング	第36回日本小児栄養消化器肝臓学会	札幌	2009年10月9-11日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
廣田昌紀, 中島清一, 根津理一郎, 長谷川順一, 三方彰喜, 金 鏞国, 吉田陽一郎, 大田浩平, 澤田元太, 吉川 澄	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊関連合併症に対する経肛門的salvage手術	第64回日本消化器外科学会総会	大阪	2009年7月16-18日
根津理一郎	クローン病に対する低侵襲手術と栄養管理	第21回新潟CDサポートセミナー	新潟	2009年6月18日
榊田浩禎, 廣田昌紀, 根津理一郎, 松並展輝, 長谷川順一, 三方彰喜, 金 鏞国, 吉田陽一郎, 西村潤一, 大田浩平, 澤田元太, 前川昌平, 李谷友香子, 大澤日出樹, 吉川 澄	十二指腸・横行結腸瘻を合併したクローン病の1切除例	第569回大阪外科集談会	大阪	2009年5月16日
澁川成弘, 山口利朗, 川井翔一郎, 大川雅照, 富永恒平, 芝 理絵, 松岡理恵, 村田真衣子, 佐藤雅子, 新居登茂恵, 野田勝久, 山田幸則, 吉原治正, 廣田昌紀, 根津理一郎	Infliximab(IFX)導入により長期在宅静脈栄養法(HPN)から離脱可能であったクローン病の2例	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月6-8日
根津理一郎	症例に学ぶIBD診療のpitfall	第11回Digestive Disease Renaissance	大阪	2009年4月25日
根津理一郎	潰瘍性大腸炎に対する外科治療 最近の話題	第13回21世紀の医療を考える会	大阪	2009年4月24日
水島恒和, 中島清一, 甲斐康之, 玉川浩司, 松田 宙, 山本浩文, 池田正孝, 竹政伊知朗, 関本貢嗣, 西田俊朗, 根津理一郎, 伊藤壽記, 土岐祐一郎, 森 正樹	クローン病に合併した悪性腫瘍症例の検討	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009年4月3-5日
根津理一郎	IBDに対する低侵襲外科治療	第17回IBDクラブジュニアウェスト	大阪	2009年2月28日
水島恒和, 伊藤壽記, 松田 宙, 宋京海, 甲斐康之, 土岐祐一郎, 森 正樹	クローン病モデルにおける新規免疫抑制剤の効果	第35回日本臓器保存生物医学会定期学術集会	東京	2008年11月22-23日
廣田昌紀, 根津理一郎, 長谷川順一, 金 鏞国, 吉田陽一郎	胃・空腸・結腸瘻を合併したクローン病の1例	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
根津理一郎	外科的立場から見たレミケード投与の意義 - 症例に学ぶ功罪と展望	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17-18日
中島清一, 根津理一郎, 甲斐康之, 野村昌哉, 水島恒和, 関本貢嗣, 伊藤壽記, 西田俊朗	炎症性腸疾患に対する低侵襲手術の現状	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16-18日
廣田昌紀, 中島清一, 根津理一郎, 藤川正博, 松並展輝, 長谷川順一, 三方彰喜, 金 鏞国, 森島宏隆, 吉田陽一郎, 吉川 澄	Crohn病再手術例に対する用手補助腹腔鏡下手術 (HALS)	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16-18日
根津理一郎	IBDの手術適応	第21回大腸病態治療研究会	大阪	2008年6月5日
中島清一, 根津理一郎, 甲斐康之, 野村昌哉, 水島恒和, 関本貢嗣, 伊藤壽記, 西田俊朗	潰瘍性大腸炎重症例に対する低侵襲手術のタイミングと術式: semi-emergency HALS	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月15-17日
川村尚久, 岡本直之, 加藤弘康, 山川一馬, 廣田昌紀, 根津理一郎, 足立晋介, 中島清一	深部静脈血栓症を合併した潰瘍性大腸炎の12歳女児例	第8回日本小児IBD研究会	東京都	2008年2月17日
青松友槻, 宮崎敬士, 余田 篤, 玉井 浩, 江頭由太郎, 根津理一郎	Chronic pouchitis の1男児例	第8回日本小児IBD研究会	東京都	2008年2月17日
中島清一, 根津理一郎, 甲斐康之, 野村昌哉, 水島恒和, 伊藤壽記, 西田俊朗	直視手術と鏡視下手術の癒合: 炎症性腸疾患に対するHALSの意義	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日-12月1日
中島清一, 根津理一郎, 甲斐康之, 野村昌哉, 水島恒和, 伊藤壽記, 西田俊朗	潰瘍性大腸炎に対する(準)緊急手術: タイミングと術式	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日-12月1日
中島清一, 根津理一郎, 甲斐康之, 野村昌哉, 水島恒和, 伊藤壽記, 西田俊朗	潰瘍性大腸炎重症例に対するsemi-emergency HALSの意義	第62回日本大腸肛門病学会総会	東京	2007年11月2-3日
廣田昌紀, 安政啓吾, 長谷川順一, 金 鏞国, 吉田陽一郎, 山本俊介, 根津理一郎	人工肛門周囲壊疽性膿皮症を合併したクローン病の1例	第62回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2007年11月2-3日
廣田昌紀, 根津理一郎, 藤川正博, 松並展輝, 長谷川順一, 三方彰喜, 金 鏞国, 森島宏隆, 吉田陽一郎, 山本俊介, 山川一馬, 榊原 謙, 澤田元太, 四條崇之, 吉川 澄	大腸型クローン病に対する広範大腸切除術後のレミケード投与経験	南大阪IBD研究会	堺	2007年9月21日
山川一馬, 中島清一, 根津理一郎, 藤川正博, 松並展輝, 長谷川順一, 三方彰喜, 金 鏞国, 森島宏隆, 吉田陽一郎, 廣田昌紀, 山本俊介, 榊原 謙, 澤田元太, 四條崇之, 吉川 澄	小児重症潰瘍性大腸炎に対し用手補助腹腔鏡下大腸全摘術を施行した一例	第20回近畿内視鏡外科研究会	大阪	2007年9月8日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
廣田昌紀、中島清一、根津理一郎、藤川正博、松並展輝、長谷川順一、三方彰喜、金 鏞国、森島宏隆、吉田陽一郎、山本俊介、山川一馬、柳原謙、澤田元太、四條崇之、吉川 澄	Crohn病再手術例に対する助手補助腹腔鏡下手術 (HALS)	第20回近畿内視鏡外科研究会	大阪	2007年9月8日
安政啓吾	高位痔瘻、直腸周囲膿瘍を合併したクローン病疑診例に対するレミケードの投与経験	第11回大阪クローン病治療研究会	大阪	2007年4月27日
中島清一、根津理一郎、甲斐康之、水島恒和、伊藤壽記、西田俊朗、澤芳樹	Crohn病大腸病変に対するHand-assisted Laparoscopic Extensive Colectomy	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月11-13日
八木 誠、根津理一郎、中島清一、吉田 洋、野上隆司、吉田英樹	小児期潰瘍性大腸炎primary pull-through術後にsalvage手術を行った一例 (第2報)	第7回日本小児IBD研究会	東京	2007年3月11日
安政啓吾	腹腔内及び後腹膜膿瘍に両側水腎症を合併したクローン病の一例	第9回大阪IBDセミナー	大阪	2007年2月9日
大川清孝、上田 渉、佐野弘治	サイトメガロウイルス腸炎の臨床的検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
大川清孝、青木哲哉、上田 渉	腸結核の内視鏡診断—診断困難例を中心に	第76回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2008年10月4日
松井佐織、田中敏宏、小谷晃平、会沢信弘、中井隆志、佐野弘治、上田 渉、青木哲哉、川崎靖子、木岡清英、岡 博子、大川清孝	非連続性・区域性潰瘍性大腸炎の内視鏡的検討	第75回日本消化器内視鏡学会総会	横浜	2008年5月26日
大川清孝、青木哲哉、上田 渉	サイトメガロウイルス腸炎の臨床的検討	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月19日
Michio Itabashi, Yoshiko Bamba, Tomoichiro Hirosawa, Shinpei Ogawa and Shingo Kameoka	Hand-assisted laparoscopic surgery for ulcerative colitis	The 2nd Korea-Japan IBD Symposium	Tokyo	2007年11月30日
Michio Itabashi, Yoshiko Bamba, Takuzo Hashimoto, Tomoichiro Hirosawa, Shinpei Ogawa and Shingo Kameoka	Laparoscopic surgery for Crohn's disease	11th Congress of Asian Federation of Coloproctology	Tokyo	2007年9月21日
Sanae Kaji, Shingo Kameoka, Michio Itabashi, Shinpei Ogawa, Tomoichiro Hirosawa, Yoshiko Bamba, Souichiro Yamamoto, Yoshimasa Aoyama, Karin Sasaki	A case report and Review: Effect of the stenoplasty as reoperation for the Crohn Disease Patient	11th Congress of Asian Federation of Coloproctology	Tokyo	2007年9月21日
廣澤知一郎、橋本忠道、番場嘉子、橋本拓造、小川真平、板橋道朗、龜岡信悟、末永きよみ	ストーマ造設後に瘻孔形成にてストーマ周囲皮下膿瘍をきたしたクローン病の一例	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	青森	2009年2月28日
板橋道朗、番場嘉子、橋本拓造、廣澤知一郎、小川真平、荒武寿樹、瀬下明良、龜岡信悟	炎症性腸疾患に対する鏡視下手術の工夫と限界	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年9月18日
板橋道朗、番場嘉子、橋本拓造、廣澤知一郎、小川真平、荒武寿樹、瀬下明良、龜岡信悟	病態を考慮した潰瘍性大腸炎の手術適応と術式選択	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年9月17日
小川真平、板橋道朗、瀬下明良、荒武寿樹、廣澤知一郎、橋本拓造、番場嘉子、山本壯一郎、大塚 亮、龜岡信悟、飯塚文瑛、藤井茂彦、藤盛孝博	colitic cancer症例の臨床病理学的検討	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年9月17日
辻本有香子、寺崎喜和子、木村幸代、出口香織利、末永きよみ、板橋道朗、廣澤知一郎、龜岡信悟	粘膜皮膚接合部瘻孔と正中腸管皮膚瘻によりストーマ管理困難となった分類不能型腸炎	第40回東京ストーマリハビリテーション研究会学術集会	東京	2008年9月6日
青山佳正、板橋道朗、小川真平、廣澤知一郎、番場嘉子、山本壯一郎、龜岡信悟	術前にAMIを合併した潰瘍性大腸炎の1例	第45回日本腹部救急医学会総会	東京	2008年3月13日
板橋道朗、番場嘉子、廣澤知一郎、小川真平、瀬下明良、龜岡信悟	炎症性腸疾患におけるHALSの有用性	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日
番場嘉子、板橋道朗、廣澤知一郎、小川真平、荒武寿樹、瀬下明良、龜岡信悟	IBD術後長期経過例における骨粗鬆症の検討	第62回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2007年11月2日
Aizawa H, Kinouchi Y, Negoro K, Kakuta Y, Takahashi S, Endo K, Ueki N, Shiga H, Matsuura M, Kimura T, Arai T, Shimosegawa T.	Candidate Gene Analysis of KIR3DL1 in Japanese Ulcerative Colitis.	110th annual meeting of American Gastroenterological Association	Chicago	2009年6月1日
Kimura T, Kakuta Y, Kinouchi Y, Takahashi S, Negoro K, Endo K, Umemura K, Aizawa H, Ueki N, Shiga H, Matsuura M, Arai T, Shimosegawa T.	Genotype-Phenotype Analysis of the SNP (Rs6887695) Located Telomeric to I112b Reveals Association with Colonic Disease of Japanese Crohn's Disease.	110th annual meeting of American Gastroenterological Association	Chicago	2009年6月1日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Endo K, Kinouchi Y, Arai T, Kimura T, Ueki N, Aizawa H, Shiga H, Matsuura M, Kakuta Y, Umemura K, Negoro K, Takahashi S, Shimosegawa T.	Specific Colonoscopic Findings of Intestinal Graft-Versus-Host Disease, Intestinal TMA, and CMV Colitis After Allogenic Hematopoietic Stem Cell Transplantation.	110th annual meeting of American Gastroenterological Association	Chicago	2009年6月1日
Ueki N, Kinouchi Y, Kakuta Y, Endo K, Nomura E, Negoro K, Takahashi S, Shimosegawa T.	The -360t/C Polymorphism in the Tnfsf15 Gene Influences the Transcriptional Activity in Activated T Lymphocytes.	109th annual meeting of American Gastroenterological Association	San Diego	2008年5月20日
Shiga H, Kajiura T, Takagi S, Kinouchi Y, Takahashi S, Negoro K, Nomura E, Yokoyama H, Suzuki M, Shinozaki J, Shimosegawa T	The changes of fecal microbiota in patients with Crohn's disease during elemental diet.	109th annual meeting of American Gastroenterological Association	San Diego	2008年5月20日
Aizawa H, Kinouchi Y, Negoro K, Kakuta Y, Nomura E, Takagi S, Takahashi S, Shimosegawa T	Lack of association between IRGM and Crohn's disease in Japanese patients demonstrates population-specific differences in inflammatory bowel disease.	109th annual meeting of American Gastroenterological Association	San Diego	2008年5月20日
Y. Kakuta, Y. Kinouchi, M. Matsuura, E. Nomura, M. Tosa, K. Negoro, S. Takagi, S. Takahashi, T. Shimosegawa	Association study of tnfsf15 genotype and hla-dqb1*04 with clinical course in Japanese patients with Crohn's disease.	15th United European Gastroenterology Week	Paris	2007年10月28日
Nomura E, Matsuura M, Kakuta Y, Negoro K, Takagi S, Takahashi S, Kinouchi Y, Shimosegawa T	TNFSF genotype is associated with anal lesions and frequent relapse in Crohn's disease	108th annual meeting of American Gastroenterological Association	Washington DC	2007年5月20日
Kakuta Y, Matsuura Y, Nomura E, Negoro K, Takagi S, Takahashi S, Kinouchi Y, Shimosegawa T	HLA-DRB1 may influence disease phenotype in Japanese patients with ulcerative colitis.	108th annual meeting of American Gastroenterological Association	Washington DC	2007年5月20日
Kakuta Y, Kinouchi Y, Negoro K, Nomura E, Takagi S, Takahashi S, Shimosegawa T	Analysis of genetic interaction between TNFSF15 and DRB1*04 in Japanese patients with Crohn's disease	108th annual meeting of American Gastroenterological Association	Washington DC	2007年5月20日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 藤川裕之, 小池勇樹, 松下航平, 安田裕美, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 樋 正人	クローン病に対する術後インフリキシマブ維持投与の意義	第71回日本臨床外科学会総会	京都	2009年11月19日
三木誓雄, 荒木俊光, 藤川裕之, 安田裕美, 大北喜基, 吉山繁幸, 内田恵一, 樋 正人	大腸全摘・回腸肛門吻合術に対する手術の工夫 大腸全摘・回腸囊肛門吻合術における直腸粘膜剥去・肛門吻合の工夫	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 藤川裕之, 小池勇樹, 松下航平, 安田裕美, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 樋 正人	潰瘍性大腸炎回腸囊肛門吻合術において直腸粘膜切除開始レベルが術後痔瘻に与える影響の検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
大北喜基, 荒木俊光, 松下航平, 小池勇樹, 藤川裕之, 大竹耕平, 吉山繁幸, 井上幹大, 内田恵一, 三木誓雄, 樋 正人	インフリキシマブ投与がクローン病痔瘻術後成績に与える影響の検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
内田恵一, 井上幹大, 荒木俊光, 大竹耕平, 小池勇樹, 松下航平, 吉山繁幸, 安田裕美, 藤川裕之, 三木誓雄, 樋 正人	潰瘍性大腸炎の術後経過 小児潰瘍性大腸炎術後の長期成績 catch up growthについての検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
吉山繁幸, 三木誓雄, 荒木俊光, 大北喜基, 藤川裕之, 安田裕美, 小池勇樹, 松下航平, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 樋 正人	IBDの手術適応とタイミング(外科、内科の立場から)クローン病腸管病変における待機手術タイミングの検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
荒木俊光, 三木誓雄, 樋 正人	クローン病術後治療による再手術抑制効果の検討	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月16日
大北喜基, 三木誓雄, 吉山繁幸, 荒木俊光, 内田恵一, 樋 正人	潰瘍性大腸炎における手術部位感染と好中球に関連した免疫学的問題点	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14日
内田恵一, 井上幹大, 荒木俊光, 大竹耕平, 小池勇樹, 松下航平, 吉山繁幸, 大北喜基, 安田裕美, 三木誓雄, 樋 正人	潰瘍性大腸炎小児期手術例のQOLに影響を及ぼす合併症の検討	第109回日本小児外科学会学術集会	大阪	2009年6月3日
吉山繁幸, 三木誓雄, 荒木俊光, 大北喜基, 藤川裕之, 安田裕美, 小池勇樹, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 樋 正人	クローン病腸管病変における手術タイミングの検討	第95回日本消化器病学会	札幌	2009年5月9日
荒木俊光, 三木誓雄, 樋 正人	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊関連性合併症の発生と治療成績の検討	第95回日本消化器病学会	札幌	2009年5月7日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 藤川裕之, 安田裕美, 吉田和枝, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 樋 正人	術後QOLと長期成績からみた炎症性腸疾患に対する外科治療 潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門吻合術の術後QOL	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009年4月3日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 安田裕美, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 樋 正人	潰瘍性大腸炎に対する手術時期と術後成績・QOLの関連	第5回日本消化管学会総会学術集会	東京	2009年2月12日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
楠 正人	Infection Control Doctorの役割の現在そして未来 臨床の場でどう貢献し、何を成すべきか ICDの推奨する手術部位感染対策	第21回日本外科感染症学会総会	札幌	2008年11月7日
大北喜基, 小林美奈子, 毛利靖彦, 三木誓雄, 楠 正人	術後腹腔内膿瘍に対する経皮的ドレナージの有効性の検討	第21回日本外科感染症学会総会	札幌	2008年11月6日
大北喜基, 三木誓雄, 吉山繁幸, 小林美奈子, 荒木俊光, 毛利靖彦, 楠 正人	大腸手術周術期管理における新たな展開 潰瘍性大腸炎患者の周術期における免疫学的問題点	第63 回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月18日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 安田裕美, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 楠 正人	炎症性腸疾患の病態に適した治療法の選択とその成績 クロウン病腸管病変術後インフリキシマブ投与が再手術に与える影響	第63 回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17日
楠 正人	外科領域を中心とする大腸肛門病専門医制度と専門医教育のあり方	第63 回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17日
大竹耕平, 内田恵一, 井上幹大, 藤川裕之, 荒木俊光, 三木誓雄, 楠 正人	1歳5ヵ月時発症の幼児潰瘍性大腸炎の1例	第35回日本小児栄養消化器肝臓学会	東京	2008年10月12日
井上幹大, 内田恵一, 小池勇樹, 藤川裕之, 大北喜基, 大竹耕平, 吉山繁幸, 荒木俊光, 三木誓雄, 楠 正人	外科的治療を行った乳児期発症クローン病4症例の検討	第35回日本小児栄養消化器肝臓学会	東京	2008年10月11日
荒木俊光, 三木誓雄, 楠 正人	クローン病の手術適応と再燃をめぐって クロウン病術後infliximabの再手術抑制効果 手術適応部位別の検討	第38回日本消化吸収学会総会 JDDW 2008	東京	2008年10月3日
大北喜基, 吉山繁幸, 荒木俊光, 三木誓雄, 楠 正人	消化器外科領域における侵襲と生体防御機構 潰瘍性大腸炎患者の周術期における免疫学的問題点	第63 回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月17日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 安田裕美, 内田恵一, 井上幹大, 大竹耕平, 楠 正人	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術の現状と意義	第63 回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月17日
井上幹大, 内田恵一, 小池勇樹, 大竹耕平, 大北喜基, 吉山繁幸, 荒木俊光, 三木誓雄, 楠 正人	QOLを考慮した乳児期発症クローン病症例の手術適応	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月16日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 内田恵一, 井上幹大, 大竹耕平, 楠 正人	炎症性腸疾患における外科手術のタイミング 潰瘍性大腸炎に対する手術適応と問題点の検討	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月15日
吉山繁幸, 三木誓雄, 大北喜基, 荒木俊光, 楠 正人	潰瘍性大腸炎手術患者術後morbidity改善のための周術期好中球分離培養による免疫能の解析及びその臨床応用	第94回日本消化器病学会	福岡	2008年5月8日
荒木俊光, 三木誓雄, 楠 正人	クローン病の長期予後:本邦のエビデンスを求めて クロウン病術後緩解維持療法としてのinfliximab	第94回日本消化器病学会	福岡	2008年5月8日
三木誓雄, 井上靖浩, 荒木俊光, 大北喜基, 渡部秀樹, 吉山繁幸, 尾嶋英紀, 楠 正人	Pelvic pouch surgeryにおける縫合不全予防のための切除・再建の工夫とその臨床成績	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月30日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 楠 正人	クローン病に対する手術と術後再発予防における抗TNF α 抗体の意義	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月30日
吉山繁幸, 三木誓雄, 大北喜基, 荒木俊光, 楠 正人	潰瘍性大腸炎(UC)手術患者に対する手術侵襲下白血球除去療法(LCAP)の有用性と適応についての検討	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日
大北喜基, 三木誓雄, 吉山繁幸, 小林美奈子, 荒木俊光, 毛利靖彦, 楠 正人	ステロイド抵抗性潰瘍性大腸炎患者のSSI発症メカニズムにおける好中球機能異常のエビデンス	第20回日本外科感染症学会学術集会	東京	2007年11月8日
大北喜基, 井上靖浩, 安田裕美, 吉山繁幸, 小林美奈子, 荒木俊光, 三木誓雄, 楠 正人	潰瘍性大腸炎患者の周術期における免疫学的問題点	第62回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2007年11月2日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 内田恵一, 楠 正人	新しい治療法の評価 現状と問題点 クロウン病に対する手術と術後再発予防におけるInfliximab	第62回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2007年11月2日
大北喜基, 三木誓雄, 吉山繁幸, 森本雄貴, 荒木俊光, 楠 正人	潰瘍性大腸炎術直後白血球除去療法による外科的感染予防効果の分子生物学的背景	第62回日本消化器外科学会総会	東京	2007年7月18日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 楠 正人	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘回腸囊肛門吻合術における術後排便機能の検討	第62回日本消化器外科学会総会	東京	2007年7月18日
吉山繁幸, 三木誓雄, 荒木俊光, 内田恵一, 大北喜基, 森本雄貴, 井上幹大, 楠 正人	当科における潰瘍性大腸炎に対する手術治療の現状とその成績	第62回日本消化器外科学会総会	東京	2007年7月18日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 内田恵一, 井上幹大, 大竹耕平, 安田裕美, 楠 正人	クローン病に対する術後の緩解維持におけるinfliximabの意義とその成績	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月20日
吉山繁幸, 大北喜基, 安田裕美, 荒木俊光, 三木誓雄, 楠 正人	潰瘍性大腸炎患者の周術期における好中球機能異常とsurgical site infectionとの関連	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月13日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
大北喜基, 吉山繁幸, 安田裕美, 大竹耕平, 荒木俊光, 三木誓雄, 植正人	手術侵襲下の潰瘍性大腸炎患者における好中球に関連した免疫学的問題点	第107回日本外科学会定期学術集会	大阪	2007年4月12日
吉山繁幸, 大北喜基, 安田裕美, 荒木俊光, 三木誓雄, 植正人	潰瘍性大腸炎外科治療における周術期白血球除去療法によるSSIの抑制効果	第3回日本消化管学会総会学術集会	東京	2007年2月1日
Mizushima T, Sasaki M, Ando T, Wada T, Tanaka M, Okamoto Y, Ebi M, Hirata Y, Murakami K, Mizoshita T, Shimura T, Kubota E, Tanida S, Kataoka H, Kamiya T, Alexander JS, Kasugai K, Joh T	Blockage of Angiotensin II type 1 receptor regulates MAdCAM-1 expression via inhibition of NF- κ B translocation to the nucleus and ameliorates colitis.	The 4th Korea-Japan Inflammatory Bowel Disease Symposium	Shinagawa	2010年1月23日
Sasaki M, Mizushima T, Kamiya T, Kataoka H, Ogasawara N, Kubota E, Wada T, Shimura T, Mizoshita T, Hirata Y, Itoh Y, Joh T	IBD prevention using an oligosaccharide synthesizing enzyme via improvement of bowel flora, TLR-2 and claudin-4.	Digestive Disease Week 2009	Chicago	2009年6月3日
Mizushima T, Sasaki M, Ando T, Wada T, Tanaka M, Okamoto Y, Ebi M, Hirata Y, Murakami K, Mizoshita T, Shimura T, Kubota E, Ogasawara N, Tanida S, Kataoka H, Kamiya T, JS Alexander, Joh T	The blockage of angiotensin II type 1 receptor regulates cytokine induced MAdCAM-1 expression by preventing the NF- κ B binding activity in nucleus and ameliorates colitis	Digestive Disease Week 2009	Chicago	2009年5月31日
Sasaki M, Wada T, Mizushima T, Ogasawara N, Kubota E, Mori Y, Shimura T, Mizoshita T, Okamoto Y, Kataoka H, Kamiya T, Joh T	Amelioration of dextran sulfate sodium induced colitis in angiotensin II type 1 receptor knockout mice.	Digestive Disease Week 2007	Washington D. C	2007年5月21日
水島隆史, 谷田論史, 溝下 勤, 佐々木誠人, 田中 守, 岡本泰幸, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 志村貴也, 久保田英嗣, 片岡洋望, 神谷 武, 城 卓志	インフリキシマブ投与で回腸末端部狭窄が改善した右腸腰筋膿瘍合併クローン病の1例	第111回日本消化器病学会地方会	名古屋	2009年12月5日
水島隆史, 佐々木誠人, 安藤朝章, 田中 守, 岡本泰幸, 小林郁生, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 溝下 勤, 志村貴也, 久保田英嗣, 和田恒哉, 小笠原尚高, 谷田論史, 片岡洋望, 神谷 武, JS Alexander, 城 卓志	マウス大腸血管内皮細胞における1型アンジオテンシンII受容体を介した接着因子MAdCAM-1の発現調節-腸炎への治療応用を目指して-	第46回日本消化器免疫病学会総会	松山	2009年7月23日
水島隆史, 佐々木誠人, 和田恒哉, 安藤朝章, 田中 守, 岡本泰幸, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 溝下 勤, 志村貴也, 久保田英嗣, 小笠原尚高, 谷田論史, 片岡洋望, 神谷 武, JS Alexander, 城 卓志	1型アンジオテンシンII受容体を介した接着因子MAdCAM-1の発現調節メカニズムの解明 -腸炎への治療応用を目指して-	第95回消化器病学会総会	札幌	2009年5月8日
水島隆史, 佐々木誠人, 和田恒哉, 安藤朝章, 田中 守, 岡本泰幸, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 溝下 勤, 志村貴也, 久保田英嗣, 小笠原尚高, 谷田論史, 片岡洋望, 神谷 武, JS Alexander, 城 卓志	マウス大腸血管内皮細胞における1型アンジオテンシンII受容体を介した接着因子MAdCAM-1の発現調節	第5回消化管学会総会	東京	2009年2月12日
城 卓志, 谷田論史, 片岡洋望, 小笠原尚高, 神谷 武	IL-8-induced EGF signaling and colon cancer progression	第67回日本癌学会総会	名古屋	2008年10月29日
谷田論史, 城 卓志, 神谷 武, 片岡洋望, 佐々木誠人, 小笠原尚高, 和田恒哉, 久保田英嗣, 溝下 勤, 志村貴也, 村上賢治, 平田慶和, 水島隆史, 海老正秀, 馬淵元志, 岡本泰幸, 田中 守	炎症性サイトカインによるEGF受容体リガントC末端を介した細胞増殖機序	第45回日本消化器免疫学会	京都	2008年7月4日
佐々木誠人, 城 卓志	eNOS遺伝子多型 (-786T>C)は潰瘍性大腸炎の予後予測因子である	第61回日本酸化ストレス学会学術集会	東京	2008年6月20日
佐々木誠人, 小笠原尚高, 城 卓志	オリゴ糖生成酵素による腸管内環境の改善を介した炎症性腸疾患予防の試み	第15回日本消化器関連学会	神戸	2007年10月20日
佐々木誠人, 和田恒哉, 水島隆史, 小笠原尚高, 久保田英嗣, 森 義徳, 志村貴也, 溝下 勤, 平田慶和, 岡本泰幸, 片岡洋望, 神谷 武, 城 卓志	アンジオテンシンII type1レセプターを介したDSS腸炎の制御	第35回日本潰瘍学会	鳥取	2007年9月22日
濱野真吾, 佐々木誠人, 神谷 武, 片岡洋望, 小笠原尚高, 久保田英嗣, 和田恒哉, 森 義徳, 志村貴也, 溝下 勤, 水島隆史, 岡本泰幸, 城 卓志	著明な小腸拡張をきたしたクローン病の1例	第106回日本消化器病学会東海支部例会	津	2007年6月16日
佐々木誠人, 和田恒哉, 水島隆史, 溝下 勤, 志村貴也, 森 義徳, 山田智則, 久保田英嗣, 小笠原尚高, 片岡洋望, 神谷 武, 城 卓志	Angiotensin II type 1 receptor制御によりDSS腸炎は抑制される	第3回日本消化管学会総会	東京	2007年2月1日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Masayuki Saruta, Qi T. Yu, I Lola Y. Kwan, I Allison H. Banham, Konstantinos A. Papadakis, Hisao Tajiri	Peripheral and intestinal FOXP3+CD4+CD25+ regulatory T cells in Crohn's disease (CD)	1st JUCC	Tokyo	2007年11月16日
Masayuki Saruta, Qi T. Yu, Phillip R. Fleshner, Pierre-Yves Mantel, Carsten B. Schmidt-Weber, Alison H. Banham, Konstantinos A. Papadakis	Characterization of FOXP3+CD4+CD25+ regulatory T cells in human Crohn's disease (CD).	DDW 2007	Washington	2007年5月23日
Makoto Sasaki, Tsuneya Wada, Takashi Mizushima, Naotaka Ogasawara, Eiji Kubota, Yoshinori Mori, Takaya Shimura, Tsutomu Mizoshita, Yasuyuki Okamoto, Hiromi Kataoka, Takeshi Kamiya, Takashi Joh	Amelioration of dextran sulfate sodium induced colitis in angiotensin II type 1 receptor knockout mice.	Digestive Disease Week 2007	Washington D. C	2007年5月21日
水島隆史, 谷田論史, 溝下勤, 佐々木誠人, 田中守, 岡本泰幸, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 志村貴也, 久保田英嗣, 片岡洋望, 神谷武, 城卓志	インフリキシマブ投与で回腸末端部狭窄が改善した右腸腰筋膿瘍合併クローン病の1例	第111回 日本消化器病学会地方会	名古屋	2009年12月5日
水島隆史, 佐々木誠人, 安藤朝章, 田中守, 岡本泰幸, 小林郁生, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 溝下勤, 志村貴也, 久保田英嗣, 和田恒哉, 小笠原尚高, 谷田論史, 片岡洋望, 神谷武, JS Alexander, 城卓志	マウス大腸血管内皮細胞における1型アンジオテンシンII受容体を介した接着因子MAdCAM-1の発現調節-腸炎への治療応用を目指して-	第46回日本消化器免疫病学会総会	松山	2009年7月23日
水島隆史, 佐々木誠人, 和田恒哉, 安藤朝章, 田中守, 岡本泰幸, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 溝下勤, 志村貴也, 久保田英嗣, 小笠原尚高, 谷田論史, 片岡洋望, 神谷武, JS Alexander, 城卓志	1型アンジオテンシンII受容体を介した接着因子MAdCAM-1の発現調節メカニズムの解明 -腸炎への治療応用を目指して-	第95回消化器病学会総会	札幌	2009年5月8日
水島隆史, 佐々木誠人, 和田恒哉, 安藤朝章, 田中守, 岡本泰幸, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 溝下勤, 志村貴也, 久保田英嗣, 小笠原尚高, 谷田論史, 片岡洋望, 神谷武, JS Alexander, 城卓志	マウス大腸血管内皮細胞における1型アンジオテンシンII受容体を介した接着因子MAdCAM-1の発現調節	第5回消化管学会総会	東京	2009年2月12日
城卓志, 谷田論史, 片岡洋望, 片岡洋望, 小笠原尚高, 神谷武	IL-8-induced EGF signaling and colon cancer progression	第67回日本癌学会総会	名古屋	2008年10月29日
谷田論史, 城卓志, 神谷武, 片岡洋望, 佐々木誠人, 小笠原尚高, 和田恒哉, 久保田英嗣, 溝下勤, 志村貴也, 村上賢治, 平田慶和, 水島隆史, 海老正秀, 馬淵元志, 岡本泰幸, 田中守	炎症性サイトカインによるEGF受容体リガントC末端を介した細胞増殖機序	第45回日本消化器免疫学会	京都	2008年7月4日
佐々木誠人, 城卓志	eNOS遺伝子多型(-786T>C)は潰瘍性大腸炎の予後予測因子である	第61回日本酸化ストレス学会学術集会	東京	2008年6月20日
佐々木誠人, 小笠原尚高, 城卓志	オリゴ糖生成酵素による腸管内環境の改善を介した炎症性腸疾患予防の試み.	第15回日本消化器関連学会.	神戸	2007年10月20日
佐々木誠人, 和田恒哉, 水島隆史, 小笠原尚高, 久保田英嗣, 森義徳, 志村貴也, 溝下勤, 平田慶和, 岡本泰幸, 片岡洋望, 神谷武, 城卓志	アンジオテンシンII type1レセプターを介したDSS腸炎の制御	第35回日本潰瘍学会	鳥取	2007年9月22日
濱野真吾, 佐々木誠人, 神谷武, 片岡洋望, 小笠原尚高, 久保田英嗣, 和田恒哉, 森義徳, 志村貴也, 溝下勤, 水島隆史, 岡本泰幸, 城卓志	著明な小腸拡張をきたしたクローン病の1例	第106回日本消化器病学会東海支部例会	津	2007年6月16日
佐々木誠人, 和田恒哉, 水島隆史, 溝下勤, 志村貴也, 森義徳, 山田智則, 久保田英嗣, 小笠原尚高, 片岡洋望, 神谷武, 城卓志	Angiotensin II type 1 receptor制御によりDSS腸炎は抑制される	第3回日本消化管学会総会	東京	2007年2月1日
Minako Sako, Tokuma Tadami, Takaaki Kawaguchi, Hidezumi Kikuchi, Naoki Yoshimura, Ysumasa Hatada, Masakazu Takazoe	Investigation of bone mineral density and bone turnover in Japanese patients with Crohn's disease	第4回日韓炎症性腸疾患シンポジウム	Tokyo	2010年1月23日
Masakazu Takazoe, Mamoru Watanabe, Takaaki Kawaguchi, Takayuki Matsumoto, Nobuhide Oshitani, Nobuo Hiwatashi, Toshifumi Hibi	Oral Alpha-4 Integrin Inhibitor (AJM300) in Patients with Active Crohn's Disease - A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Trial	欧州消化器病週間 (UEGW2009)	London	2009年11月23日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Naoki Yoshimura, Takaaki Kawaguchi, Minako Sako, Toshihiko Yamaka, Masakazu Takazoe	The Association of Processed Blood Volume with the Clinical Efficacy of Selectively Depleting Elevated Granulocytes/Monocytes in Patients with Ulcerative Colitis	欧州消化器病週間 (UEGW2009)	London	2009年11月23日
Naoki Yoshimura, Takaaki Kawaguchi, Minako Sako, Toshihiko Yamaka, Masakazu Takazoe	The Impact of Processed Blood Volume on the Clinical Efficacy of Extracorporeal Granulocyte/Monocyte Adsorption in Patients with Ulcerative Colitis	欧州消化器病週間会 (UEGW2008)	Vienna	2008年11月21日
Naoki Yoshimura, Takaaki Kawaguchi, Minako Sako, Masakazu Takazoe	Clinical Efficacy of Infliximab in the Management of Postsurgical Recurring Crohn's Disease	米国消化器病週間 (DDW2008)	San Diego	2008年5月20日
Naoki Yoshimura, Yasuo Suzuki, Masakazu Takazoe	Clinical Efficacy of "Top-down" Intravenous Cyclosporin Therapy in Patients with Severe Ulcerative Colitis	米国消化器病週間 (DDW2007)	Washington	2007年5月20日
吉村直樹、唯見徳馬、中島真如紀、河口貴昭、酒匂美奈子、高添正和	重症難治性潰瘍性大腸炎に対するシクロスポリン持続静注療法の有効性と限界の検討	第6回日本消化管学会総会	福岡	2010年2月10日
河口貴昭、須賀泰世、高添正和	クローン病患者の腸管炎症に与える食物の影響検討	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月17日
吉村直樹、酒匂美奈子、高添正和	潰瘍性大腸炎における血球成分除去療法(高処理法)の有効性の検討	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月16日
中島真如紀、唯見徳馬、河口貴昭、酒匂美奈子、吉村直樹、高添正和	結腸全摘出術後に上部消化管病変による大量下痢をきたし摘出標本において直腸から回腸末端の広範なdysplasiaを認めた潰瘍性大腸炎の1例	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月15日
酒匂美奈子、唯見徳馬、中島真如紀、河口貴昭、菊池英純、吉村直樹、畑田康政、高添正和	クローン病に合併する尿路結石症と腸管病変の関係について	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月15日
吉村直樹、鈴木康夫、高添正和	重症難治性潰瘍性大腸炎に対するシクロスポリン持続静注療法の位置づけ	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14日
吉村直樹、山家敏彦、高添正和	血球成分除去療法における高処理法の有効性の検討	第30回日本アフェレーシス学会	札幌	2009年9月12日
酒匂美奈子、唯見徳馬、中島真如紀、河口貴昭、菊池英純、吉村直樹、畑田康政、高添正和	クローン病食道病変にInfliximabが著効した一例	第88回日本消化器内視鏡学会関東地方会	東京	2009年6月12日
河口貴昭、斎藤聡、中島真如紀、唯見徳馬、酒匂美奈子、吉村直樹、畑田康政、高添正和	シングルバルーン小腸内視鏡で摘除しえたクローン病合併小腸結石の1例	第77回日本消化器内視鏡学会総会	名古屋	2009年5月21日
中條恵一郎、酒匂美奈子、吉村直樹、唯見徳馬、中島真如紀、河口貴昭、斎藤聡、畑田康政、高添正和	シェーンライン・ヘノホ紫斑病を合併した大腸全摘後潰瘍性大腸炎の一例	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日
吉村直樹、鈴木康夫、高添正和	シクロスポリン持続静注療法を導入した重症難治性潰瘍性大腸炎の長期予後の検討	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日
吉村直樹、河口貴昭、酒匂美奈子、高添正和	術後クローン病の緩解維持療法におけるInfliximabの有効性の検討	第5回日本消化管学会総会	東京	2009年2月12日
吉村直樹、酒匂美奈子、高添正和	術後クローン病の緩解維持療法におけるInfliximabの有効性の検討	第50回日本消化器病学会大会	東京	2008年10月3日
酒匂美奈子、河口貴昭、吉村直樹、高添正和	クローン病に対する術後緩解維持療法としての大建中湯の効果	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月10日
吉村直樹、酒匂美奈子、高添正和	術後クローン病に対しInfliximabの有効性の検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月9日
吉村直樹	Controversy in IBD 重症ステロイド抵抗性潰瘍性大腸炎 CAP療法	第4回日本炎症性腸疾患研究会	東京	2007年12月2日
河口貴昭、酒匂美奈子、吉村直樹、高添正和、柳富子	潰瘍性大腸炎を合併したHIV感染者の一例	第21回日本エイズ学会	広島	2007年11月30日
吉村直樹、鈴木康夫、高添正和、篠田俊雄	大腸内視鏡所見に基づく潰瘍性大腸炎における血球成分除去療法の有効性と限界の検討	第28回日本アフェレーシス学会	久留米	2007年11月18日
吉村直樹、酒匂美奈子、高添正和	クローン病の緩解導入療法におけるInfliximabの位置づけと有効性の検討	第49回日本消化器病学会大会	神戸	2007年10月19日
吉村直樹、鈴木康夫、高添正和	大腸内視鏡所見に基づいた潰瘍性大腸炎の治療選択の考察	第73回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2007年5月10日
吉村直樹、鈴木康夫、高添正和	大腸内視鏡所見に基づいた顆粒球除去療法の有効性と限界の検討	第93回日本消化器病学会総会	青森	2007年4月21日
Kiyoshi Takeda	Innate immune responses at the intestinal mucosa	The first CSI/JSI/KAI Joint Symposium on Immunology	Shanghai, China	2009年11月7-8日
Kiyoshi Takeda	Innate immune responses at the intestinal mucosa	The 2009 Fall Conference of the Korean Association of Immunologists	Seoul, Korea	2009年11月9-10日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Kiyoshi Takeda	ATP from commensal bacteria induces Th17 cell development in the intestine	Regulation of innate immunity	Seoul, Korea	2009年9月17-18日
Kiyoshi Takeda	Commensal bacteria-derived ATP mediates development of intestinal Th17 cells	RCAI-JSI International Symposium on Immunology 2009	Yokohama	2009年7月9-10日
Kiyoshi Takeda	A mechanism for development of intestinal Th17 cells causing intestinal inflammation	The 7th Sino-Japan Joint Conference for Cancer Research	Guangzhou, China	2008年12月7-10日
Kiyoshi Takeda	Commensal bacteria-derived ATP mediates Th17 cell development in the intestinal lamina propria	第37回日本免疫学会学術集会	Kyoto	2008年12月1-3日
Kiyoshi Takeda	Regulation of inflammatory responses by nuclear IκB proteins	Regulation of inflammatory responses by nuclear IκB proteins	Sendai	2007年10月25日
竹田 潔	腸管粘膜に特有の自然免疫系細胞の機能	第39回日本免疫学会学術集会	大阪	2009年12月2-4日
竹田 潔	自然免疫系の活性制御と免疫疾患	第51回日本小児血液学会	千葉	2009年11月27-29日
竹田 潔	自然免疫系と炎症性腸疾患	第29回日本炎症・再生医学会	東京	2008年7月9日
竹田 潔	腸内フローラと炎症性腸疾患	第12回腸内細菌学会	東京	2008年6月13日
竹田 潔	自然免疫シグナルの制御機構	第28回日本炎症・再生医学会	東京	2007年8月2日
Ishige T, Tomomasa T, Suzuki T, Miyazawa R, Takebayashi T, Asakura K, Arakawa H, Morikawa A	Growth in pediatric onset inflammatory bowel disease - analysis using the Japanese nationwide IBD registry database	The 4th Congress of Asian Society for Pediatric Research	Hawaii	2008年5月5日
石毛 崇、鈴木僚子、友政 剛、小野真衣子、宮澤麗子、金子浩章、荒川浩一	小児期クローン病における血中サイトカインの検討	第36回日本小児栄養消化器肝臓学会	北海道大学学術交流会館	2009年10月11日
石毛 崇、友政 剛、宮沢 麗子、鈴木 僚子、金子 浩章、田端 雅彦、土岐 文彰、高橋 篤、荒川 浩一	小児期発症潰瘍性大腸炎患者の術後長期予後に関する後方視的検討	第36回日本小児栄養消化器肝臓学会	札幌	2009年10月10日
鈴木僚子、友政 剛、石毛 崇、宮沢麗子、金子浩章、荒川浩一	小児炎症性腸疾患における血清中炎症性サイトカインの検討	第35回日本小児栄養消化器肝臓学会	東京	2008年10月11日
石毛 崇、友政 剛、武林 亨、朝倉敬子、鈴木僚子、羽鳥麗子、荒川浩一	乳幼児期発症炎症性腸疾患患者の臨床的特徴 特定疾患臨床調査個人票データの解析	第35回日本小児栄養消化器肝臓学会	東京	2008年10月11日
鈴木僚子、友政 剛、石毛 崇、宮沢麗子、森川昭廣	血球成分除去療法を施行した潰瘍性大腸炎小児例における血中サイトカインの変動	第34回 日本小児栄養消化器肝臓学会	仙台	2007年10月6日
石毛 崇、友政 剛、鈴木僚子、宮沢麗子、武林 亨、朝倉敬子、森川昭廣	臨床調査個人票を用いた炎症性腸疾患小児の身長に関する検討	第34回 日本小児栄養消化器肝臓学会	仙台	2007年10月6日
鈴木僚子、石毛 崇、羽鳥麗子、金子浩章、友政 剛、森川昭廣	小児潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法の効果に影響を与える因子の検討	第110回 日本小児科学会学術集会	京都国際会館	2007年4月21日
石毛 崇、友政 剛、鈴木僚子、宮沢麗子、武林 亨、朝倉敬子、森川昭廣	臨床調査個人票に基づく小児炎症性腸疾患の疫学的研究	第110回 日本小児科学会学術集会	京都国際会館	2007年4月21日
Tatsushi Omatsu, Yuji Naito, Tomohisa Takagi, Katsura Mizushima, Hitomi Okada, Ken Inoue, Shinya Yamada, Kohei Fukumoto, Akihito Harusato, Ikuhiro Hirata, Tomoko Oya-Ito, Kazuhiko Uchiyama, Osamu Handa, Nobuaki Yagi, Satoshi Kokura, Hiroshi Ichikawa, Toshikazu Yoshikawa	Proteomic discovery of the down-regulation of peroxiredoxin-6 in murine dextran sodium sulfate-induced colitis	UEGW2009	London	2009年11月24日
Tatsushi Omatsu, Yuji Naito, Tomohisa Takagi, Katsura Mizushima, Hitomi Okada, Ken Inoue, Shinya Yamada, Kohei Fukumoto, Akihito Harusato, Ikuhiro Hirata, Tomoko Oya-Ito, Osamu Handa, Nobuaki Yagi, Satoshi Kokura, Hiroshi Ichikawa, Toshikazu Yoshikawa	The exhaustive proteomics revealed the down-regulation of peroxiredoxin-6 in murine dextran sodium sulfate-induced colitis	ICMI2009	Boston	2009年7月7日
Tatsushi Omatsu, Yuji Naito, Tomohisa Takagi, Katsura Mizushima, Hitomi Okada, Kohei Fukumoto, Akihito Harusato, Ikuhiro Hirata, Yoko Hamano, Tomoko Oya-Ito, Osamu Handa, Nobuaki Yagi, Satoshi Kokura, Hiroshi Ichikawa, Hideshi Fujiwake, Toshikazu Yoshikawa	Decreased Expression of Peroxiredoxin-6 in Murine Dextran Sodium Sulfate-Induced Colitis Identified by 2-Dimensional Fluorescence Difference in Gel Electrophoresis	DDW2009	Chicago	2009年5月31日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Tatsushi Omatsu, Yuji Naito, Tomohisa Takagi, Katsura Mizushima, Hitomi Okada, Ikuhiro Hirata, Tetsuya Okayama, Osamu Handa, Satoshi Kokura, Hiroshi Ichikawa, Toshikazu Yoshikawa	The expression of Peroxiredoxin-VI in the colonic mucosa in the patients with active Ulcerative Colitis	Japan-Korea IBD Symposium	Seoul	2008年9月20日
尾松達司、内藤裕二、高木智久、水島かつら、岡田ひとみ、福本晃平、春里暁人、平田育大、内山和彦、半田修、八木信明、古倉聡、市川寛、吉川敏一	マウス腸炎モデルに対するプロテオミクスの手法を用いたアプローチ～ペルオキシレドキシン6発現低下の発見～	第46回日本消化器免疫学会総会	松山	2009年7月23日
尾松達司、内藤裕二、高木智久、水島かつら、岡田ひとみ、福本晃平、春里暁人、平田育大、半田修、古倉聡、市川寛、吉川敏一	マウス腸炎モデルに対する網羅的蛋白解析によるアプローチ～ペルオキシレドキシン6の役割～	第95回日本消化器病学会総会	北海道	2009年5月8日
Iiai T, Tani T, Fushiki M, Nogami H, Hatakeyama K	Ileal pouch anal anastomosis (IPAA) for ulcerative colitis: a Japanese single institute experience	ISW 2009	Adelaide	2009年9月6-10日
Tsuneo Iiai, Hitoshi Kameyama, Satoshi Maruyama, Tatsuo Tani, Katsuyoshi Hatakeyama	137 cases of ileal pouch anal anastomosis (IPAA) for ulcerative colitis: a Japanese single institute experience	3rd JAPAN-KOREA IBD symposium	Seoul	2008年9月20日
飯合恒夫、野上仁、島田能史、中野雅人、関根和彦、谷達夫、畠山勝義	大出血時の潰瘍性大腸炎の手術	第71回日本臨床外科学会総会	京都	2009年11月19日
飯合恒夫、野上仁、谷達夫、島田能史、中野雅人、関根和彦、畠山勝義	W型回腸囊肛門吻合術の標準化を目指して	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
関根和彦、野上仁、中野雅人、島田能史、谷達夫、飯合恒夫、畠山勝義	Crohn病に食道GISTを併発した1例	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
飯合恒夫、野上仁、谷達夫、島田能史、中野雅人、関根和彦、畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門吻合術後長期経過例の検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
野上仁、木戸知紀、川原聖佳子、丸山聡、谷達夫、飯合恒夫、畠山勝義	当科で経験した直腸炎型潰瘍性大腸炎の検討	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月8日
飯合恒夫、亀山仁史、野上仁、川原聖佳子、木戸知紀、丸山聡、谷達夫、畠山勝義	65歳以上の高齢者潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術の検討	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月8日
亀山仁史、飯合恒夫、畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対する外科的治療の成績とQOL評価	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日
亀山仁史、飯合恒夫、須田和敬、丸山聡、谷達夫、畠山勝義	潰瘍性大腸炎術後のQOLの評価	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009年4月3日
飯合恒夫、谷達夫、丸山聡、畠山勝義	緊急手術例からみた潰瘍性大腸炎手術のタイミング	第5回日本消化管学会総会	東京	2009年2月13日
飯合恒夫、野上仁、岩谷昭、岡村卓磨、伏木麻恵、亀山仁史、須田和敬、丸山聡、谷達夫、畠山勝義	当科のCrohn病に対する手術の検討	第70回日本臨床外科学会総会	東京	2008年11月29日
飯合恒夫、谷達夫、丸山聡、畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対する手術の経験と問題点	第63回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2008年10月17日
飯合恒夫、岩谷昭、島田能史、小林康雄、高橋聡、須田和敬、丸山聡、谷達夫、畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術137例の解析	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月17日
小林康雄、八木実、飯合恒夫、谷達夫、丸山聡、畠山勝義	潰瘍性大腸炎術後排便機能評価 Fecoflowmetryを用いた検討	第63回日本消化器外科学会総会	札幌	2008年7月16日
飯合恒夫、野上仁、岩谷昭、伏木麻恵、岡村卓磨、亀山仁史、須田和敬、丸山聡、谷達夫、畠山勝義	当科のCrohn病の手術成績と問題点	第61回新潟大腸肛門病研究会	新潟	2008年6月14日
飯合恒夫、岩谷昭、川原聖佳子、島田能史、高橋聡、松澤岳晃、丸山聡、谷達夫、畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術 (IPAA) の問題点	第108回日本外科学会定期学術集会	長崎	2008年5月15日
飯合恒夫、谷達夫、丸山聡、田島陽介、畠山勝義	潰瘍性大腸炎緊急手術例の検討	第94回日本消化器病学会総会	福岡	2008年5月9日
岩谷昭、松澤岳晃、高橋聡、寺島哲郎、川原聖佳子、丸山聡、谷達夫、飯合恒夫、畠山勝義	クローン病手術症例におけるSSIの検討	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日
飯合恒夫、岩谷昭、谷達夫、丸山聡、畠山勝義	炎症性大腸疾患の手術 タイミングと術式 外科側から見た潰瘍性大腸炎の手術のタイミング	第69回日本臨床外科学会総会	横浜	2007年11月29日

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
飯合恒夫, 亀山仁史, 岩谷昭, 川原聖佳子, 松澤岳晃, 中野雅人, 丸山聡, 谷達夫, 畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術後長期経過例の検討	第62回日本消化器外科学会定期学術総会	東京	2007年7月18日
飯合恒夫, 丸山聡, 谷達夫, 畠山勝義	若年者潰瘍性大腸炎の手術治療と問題点	第107回日本外科学会学術集会	大阪	2007年4月11日
Kawamura YI, Toyota M, Kawamura YJ, Konishi F, Saito Y, Yajima T, Hibi T, Matsumoto T, Imai K, Dohi T	Epigenetic change causes aberrant glycosylation in ulcerative colitis and colitic cancer	The 4th Korea-Japan IBD Symposium.	Tokyo	2010年1月23日
Kawamura YI, Toyota M, Kawashima R, Hagiwara T, Kawamura Y, Matsumoto T, Dohi T	DNA Hypermethylation Contributes to Incomplete Synthesis of the Sda Carbohydrate Antigen in Ulcerative Colitis-Associated Neoplasms But Not in Sporadic Colorectal Cancers	Digestive Disease Week 2009	Chicago	2009年6月1日
Kawamura YI, Toyota M, Kawashima R, Hagiwara T, Kawamura Y, Dohi T	DNA Hypermethylation Causes Cancer-Associated Changes of Carbohydrate Determinants By Silencing 'Glyco-Genes' in Gastrointestinal Cancer	Digestive Disease Week 2010	San Diego	2009年5月20日
T Dohi	TNF superfamily molecules as next therapeutic targets for inflammatory bowel diseases	10th Symposium of Korean Association for the Study of Intestinal Diseases, Invited lecture	Seoul	2008年12月13日
Y I. Kawamura, M Toyota, R Kawashima, T Hagiwara, YJ. Kawamura, F Konishi, Y Saito, R Kannagi, K Imai, Dohi T	Inflammation-associated transcriptional silencing of Sda carbohydrate-synthase gene by DNA hypermethylation in ulcerative colitis	Biochemistry and Molecular Biology (BMB) 2008	Kobe	2008年12月11日
Kawashima R, Kawamura IK, Toyama-Sorimachi N, Dohi T	IL-13 disrupts tight junction in the intestinal epithelial cells by modulating expression of ZO-1, occludin and claudin-2	第38回日本免疫学会学術集会	Kyoto	2008年12月2日
Y I. Kawamura, M Toyota, R Kawashima, Y J. Kawamura, F Konishi, Y Saito, T Yajima, T Hibi, T Matsumoto, R Kannagi, K Imai, and Dohi T	Transcriptional silencing of Sda carbohydrate-synthase gene by hypermethylation in ulcerative colitis and colitic cancer	第67回日本癌学会学術総会	Nagoya	2008年10月29日
Vongsavanh P, Y I. Kawamura, R Kawashima, and Dohi T	Comprehensive analysis of lectin-binding in the colitis and colitis-associated tumors in mice	第67回日本癌学会学術総会	Nagoya	2008年10月28日
Dohi T	Dose-dependent differential regulation of cytokine secretion from macrophages by fractalkine,	13th. US-Japan GI & Liver Meeting in 21st Century	Tokyo	2008年6月13日
Kawashima R, Kawamura YI, Mizutani N, Toyama-Sorimachi N, Dohi T	Interleukin-13 Induces Tissue Damage with Relocation of β -Catenin and Modification of Cell-Cell Adhesion in the Epithelial Cells	Digestive Disease Week 2009	San Diego	2008年5月20日
Dohi T, Borodovsky A, Kawashima R, Wu P, Kawamura YI, Burkly LC	Tweak/Fn14 Pathway: Role in the Intestinal Inflammation and Tissue Repair	Digestive Disease Week 2008	San Diego,	2008年5月18日
Kawashima R, Kawamura YI, Mizutani N, Shirai Y, Saito Y, Toyama-Sorimachi N, Konishi F, Kawamura YJ, Dohi T	Aberrant response to indigenous lipopolysaccharide in the colonic lamina propria mononuclear cells in ulcerative colitis	The 4th Annual Meeting of JSIBD	Tokyo	2007年12月1日
Kawashima R, Kawamura YI, Mizutani N, N T-S, Kawamura YJ, Konishi F, Dohi T	Two distinct types of aberrant responses in the colonic lamina propria cells to lipopolysaccharide (LPS) in ulcerative colitis	13th International Congress of Mucosal Immunology	Tokyo	2007年7月11日
Kawashima R, Kawamura YI, Mizutani N, Toyama-Sorimachi N, Saito Y, Kawamura YJ, Fumio, Konishi, Dohi T	Aberrant responses of human colonic macrophage-type cells to lipopolysaccharide in ulcerative colitis: upregulated expression of MD-2 and production of inflammatory cytokines	Digestive Disease Week 2007	Washington D. C.	2007年5月22日
河村由紀, 豊田 実, 河村 裕, 小西文雄, 斉藤幸夫, 松本 誉之, 鈴木 拓, 今井浩三, 土肥多恵子	炎症関連大腸癌では散発性大腸癌と同じ糖鎖不全が異なるメカニズムによりおこる。	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月15日
河村由紀, 豊田 実, 河村 裕, 小西文雄, 斉藤幸夫, 鈴木 拓, 今井浩三, 土肥多恵子	DNAメチル化により引き起こされるSda糖鎖発現抑制の炎症発癌における意義	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月9日
土肥多恵子, 河村由紀, 豊田 実	消化管癌における糖鎖関連遺伝子のDNAメチル化によるサイレンシング	JDDW2008,	東京	2008年10月1日
河村由紀, 豊田 実, 川島 麗, 萩原輝記, 鈴木 拓, 篠村 恭久, 時野 隆至, 今井浩三, 土肥多恵子	DNAメチル化異常により引き起こされる消化管の癌性糖鎖不全現象	日本分子臨床医学会	神戸	2008年7月23日
土肥多恵子	消化管病変における糖鎖発現の意義とそのエピジェネティックな制御機構	第12回GI Cell Biology研究会	東京	2008年6月19日